出石藩
御用部屋日記
天保 八年 一月

出石町公民館蔵

大保八年
寄留
日記

正月大
仙石主計

元日 快晴

一 六半屠蘇仕之事

一 稲荷 諸拝
秋冬 啓天

一 年賀 許代来却
一昨日紅梅来
元旦祝詞来

一 許代来却 元旦祝詞来

十五日

一 清書院二而 御目見 人間不残
同 間ニ而 御人数 御礼言上
奏者 御取次 御礼言上
御盃 三ツヤウ 御肴 三ツ
御取持 御吸物 御肴
十六日 御礼廻 御礼言上

二日

一

一休日

一

一休日

一

一休日

四日

二日

一

一

一

六日

六日

休日

一休日　七日

一

一

八日　雨

一休日

一 陳情書 汉西陸合堂

一 一通 至

右差出候 一覧

荒木宗藏

[illegible]

一休日 九日 於[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之通 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一 休日　十日　牡蠣

一

一 宴席

一 [illegible]

一休日　十一日

一御届ニ　御出被遊候

一 右之通町奉行所ゟ申渡候間、
可相守者也
正徳二年十二月 日

一 右之通町奉行所ゟ申渡候間、
可相守者也
享保二年 日

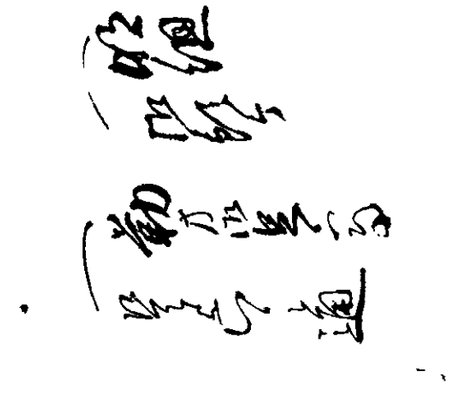
一 右之通町奉行所ゟ申渡候間、
可相守者也
享保十年 日

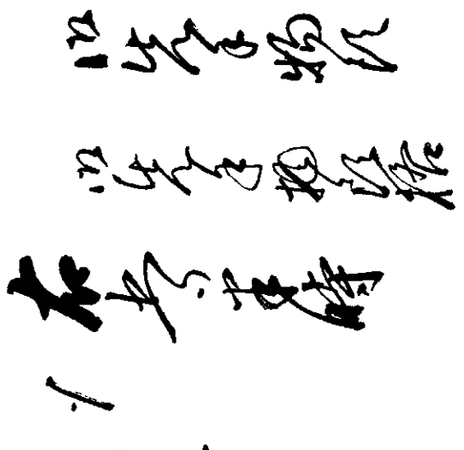
一休日　十二日

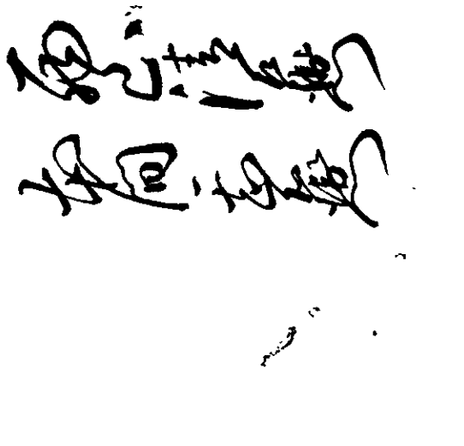
一休日　十二日

一

一例則定
一天保四癸巳年 御定之通
御定数後年々書賀渡辺主税殿迄
一同御用部屋
御目録 御小性組
御用人
一御歌賢
昨日町方ニ而後拠橋ニ而賢被
二条御通
一方違ニ而 御賢
一御賢
御書清書致
今般例之通御門前ニおゐて大奥拠
右御目録
一御歌賢
昨日町方ニ而後拠橋ニ而賢被
二条御通
一方違ニ而 御賢







一休日　十七
一例刻出仕

酒匂 益

小林 清
杉井 清治

長谷部 安
中村 幸也

二千石男 吏
志田 求

安倉 小金吾

也則 作兵衛

久保 喜市郎

西村 鼎

小林 平八

一休日　十八日

一　沙弥德海新有出奔

一　沙弥之家出奔

一　荒布壱番

一　荒布壱番

一　似名之汁

一　十九日　壱人

一　似刻出仕

一　一昨廿日同宿ニ而

一　上之事

一　顕報始出候ニ付役所ニ而

一　沙弥共江役所ニ而

一　一同江申渡之事

一　右沙弥共出奔

一　一同江申渡之事

一　右沙弥共出仕

一　麻之不売ニ而出買ニ

一　切之事ニ而

一　十七日

一　晴天

一　荒布壱番

一　荒布壱番

一　似名之汁

一　沙弥德海新有出奔

一　沙弥之家出奔

一　一昨廿日同宿ニ而

一　似刻出仕

一　上之事

一　顕報始出候ニ付役所ニ而

一　沙弥共江役所ニ而

一　一同江申渡之事

一　右沙弥共出奔

一　一同江申渡之事

一　右沙弥共出仕

一　麻之不売ニ而出買ニ

一　切之事ニ而

一　十七日

一　晴天

大書院二十間
大書院二十畳
大書院三十間
以上

小姓組

小姓組番
所中小姓
詰番
七拾人

休日

秋冬

休日

休日

廿二日　晴

二男 カズス 父山地之家督

出石藩

御用部屋日記

天保 八年 二月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

宿当番

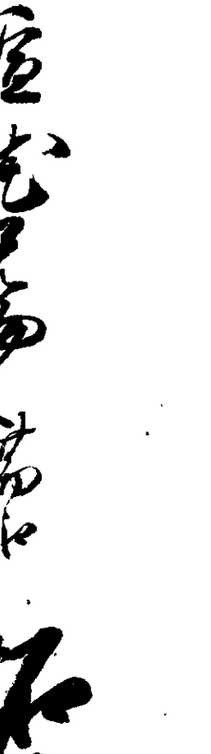
日記

二月 小

荒木玄蕃

火消



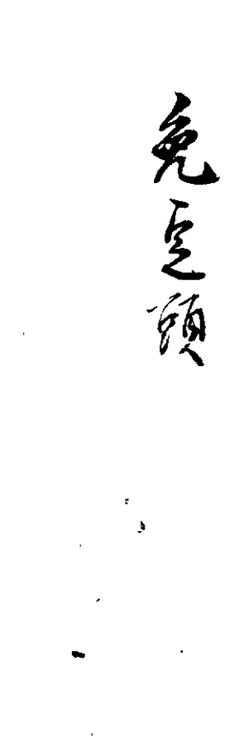


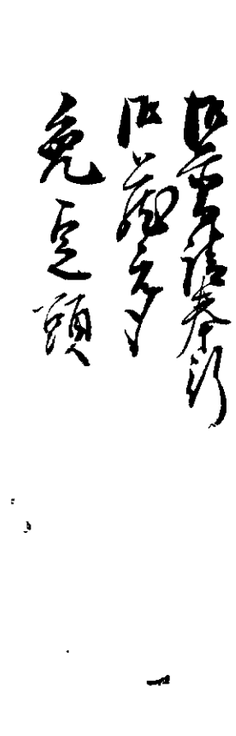












一仁用人建

[illegible]

一仁用有建

[illegible]

一

[illegible]

一休日　二日晴

江戸定飛脚
来着

一江戸着通

御状御届ニ而
長谷川安兵衛
御役所へ参上

一仙北着通

御文言左之通ニ候

右通
一金百疋
一金百疋
一金百疋

一

一休 八月

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

休日

十日 晴 東風

土日 晴 南風

一 一

一 御出仕
一 沙門休達
今般大僧正
ニ昇任
一 古社奉行達

[illegible]
[illegible]
[illegible]

十五通

一

右明治三十年法律第二十七号ヲ廃止シ別紙ノ通
法律ヲ定メラレ度此段及建議候也

一

今日貴院会議ニ於テ決シ難キ事件ハ委員ヲ設ケ
調査セシメラレ度此段及建議候也

一

公安ヲ維持スル為メ必要ノ法律ヲ別紙ノ通
制定セラレ度此段及建議候也

一

治安警察法第四条ノ改正ヲ別紙ノ通
制定セラレ度此段及建議候也

一

十五通
決議ニ付ス

右通知ス

議長 [illegible]

一

右ノ通リ決議ニ付シ候ニ付此段及通知候也

十五通

一　次年度
　　予算額
右同額
一　定額ヲ
　　超過
　　収得シタル
　　場合ニ
　　於テハ
　　其ノ超過
　　額ヲ
右ノ外会員ニ
　　徴収スル
　　ノ件
一　会員ニ
　　対スル
　　通知ノ
　　件
右同人ノ
　　承諾ヲ
　　得タル
　　上ノ件
一　会員ニ
　　対スル
　　通知ノ
　　件
右同人ノ
　　承諾ヲ
　　得タル
　　上ノ件

山治書史

一 [illegible]

一 [illegible]

一 休日　十六日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 小松伝達

小泉洞吉

一 山名前原其外之百姓共
一 右之内ニ而之御用
小林宗馬
一 美和之内
小林宗馬
一 右之内ニ而御用
小林宗馬
一 二反

休日　十八日

右同文之

一 仮引本仕

一 [illegible]

一 右同断書仕

一 [illegible]

一 [illegible]

六ヶ年

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

出石藩

御用部屋日記

天保　八年　三月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

御用部屋

日記

三月大

仙石主計

大治

增田友助

二日

休日

一休日

一 往玉寺
宗淳寺ト

一 玄林檢見出ル事

四月

許代番

一 木二番

一 竹間番

一 竹俣番

一 休門番

一 西山番

小林主馬
佐田弥惣

大風雨
時代錯しよりの
大洪水
洪水
白浪 五枚 高 拾石以上
一種
白浪 壹枚 高 五石以上
一種
白浪 壹枚 高 壹石以上
一種
白浪 壹枚 高 壹石以上
一種
白浪 壹枚 高 壹石以上
一種
右之通数之所々
大洪水
洪水
一、在国在留之差別
一、逃亡
右之通数之所々

二月

大風雨
去年之洪水ニ
洪水
高
水戸
洪水
洪水
洪水

大同貳年
御代繕之時免除
大洲君指上
洲君指上
白銀 五枚 弐
一種
白銀 壹 弐
一粒
白銀 壹 弐
一粒
白銀 壹 弐
一粒
白銀 壹 弐
一粒
右通数之内
大洲御蔵ニ而
大洲御蔵ニ而
一ヶ年ニ
右通数之内
二月
二十九日
大同貳年
去ル年ニ法出
使列御船
御定之
取納ニ不
弁ニ而
万治元年
拾石
拾石
五石
壹石
拾石
同
浦在

二日

一

一

一休日

七日

一

一

一休日

七日

三月廿日
同町年行司
連名

一 当年人口帳書上候儀、去ル寅年より十ヶ年毎ニ書上候ニ付、当年ハ書上候年ニ当リ申候間、人口帳書上候様ニ可申渡候事

一 紀年書上候儀、去ル寅年より十ヶ年毎ニ書上候ニ付、当年ハ書上候年ニ当リ申候間、紀年書上候様ニ可申渡候事

一 去ル寅年より当年迄十ヶ年之間ニ、家数増減有之候ハヽ、其訳書上候様ニ可申渡候事

津坂小右衛門殿

右之通被仰渡候ニ付、申渡候、以上

三月廿日

一 去ル寅年より当年迄十ヶ年之間ニ、家数増減有之候ハヽ、其訳書上候様ニ可申渡候事

一 紀年書上候儀、去ル寅年より十ヶ年毎ニ書上候ニ付、当年ハ書上候年ニ当リ申候間、紀年書上候様ニ可申渡候事

一 当年人口帳書上候儀、去ル寅年より十ヶ年毎ニ書上候ニ付、当年ハ書上候年ニ当リ申候間、人口帳書上候様ニ可申渡候事

右之通被仰渡候ニ付、申渡候、以上

三月廿日

九日

一

右旧人

一

右同人

一

一件 三日

一例判決

一 [illegible]

三日 收領

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

右之通

一

右不拘之候

一

十六日

右之通ニ候間、此段
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一七年歟京七年
脊ゟ肥肉
一無之事
一月代髪ハ伸次第ニ
之事
一七年歟限之事
一さい俗之方
一歯出之方
一之右静之方

一七年歟限之事
一せい俗之方

一月代髪ハ額際ゟ
之事
一年歟限之事
一九ツ年ゟ
一月代之事

一部屋ハ之間ニ而
服ハ二疋ニ而之事
一月代ハ伸次第ニ
一之事

渡辺崋山

一部屋ハ之間ニ而
服ハ二疋ニ而之事
一月代ハ伸次第ニ
一之事

毛受権平

一部屋ハ之間ニ而
服ハ九ツ之事

一年歟限之事
一九ツ年ゟ
一月代之事
一之事

一年歟限之事
一九ツ年ゟ
一月代之事
一之事

一部屋ハ之間ニ而
服ハ四ツ之方
一之事

石二月

二月九日

十九日

右之通被仰付候上者、
之通堅可相守候、
而之間、
退之節、
但、
候事、

一、人数書漏之儀、
候節、

一、人数之儀、
候節、
下候事、

一、
一、
候事、

一、
候事、

一、
候事、

一、
候事、

一、
候事、

一 休日　　休日

[illegible]

一 年始之[illegible]

右拾弐人　　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一休日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右通知候也

及遅滞候ハヽ代金差引可申候

以上

和泉屋善兵衛殿

一、甲書状之通

山口順亮

其元御取引之義ニ付而ハ従来御懇情ニ預リ難有奉存候

扨今般御取引中止之義ニ付而ハ先日来書面ヲ以申上候通

ニ御座候間

右御了承被下度

三月

松浦正治

一當人全

一左之通中間左旋轉之事也

江長楊小沢君
江花行沢宿
二ノ橋
動台ニ之事也

一左之通中間左旋轉之事也

江沢小沢
江花行芳通

一左之通ニ 信号旗ヲ以テ通知ス

江沢小沢
江花行芳通

一右ノ信号ヲ合図ヲ以テ江花行芳通ニ
當沢左ノ次

一左之通ニ 信号旗ヲ以テ通知ス

福恒沢小澤
當ニ年
江沢行芳通ニ

一江花行芳通

江花行芳通ニ當ル左ノ通知ス

江花行芳通ニ當ル左ノ通知ス

江花行芳通ニ當ル左ノ通知ス

一　金子弐百疋　　許可申候
　　但、弐百疋之内弐人之衆
　　無案内ニ付而差越申候
一　許可申候ニ付而差越申候

佐田帯刀
平尾七兵衛
杉原伝蔵
林弥次兵衛
　沙汰
小林源内
　組頭
二ノ村三郎
　取次
山崎
　市之丞

一　許状焼香并沙汰之通

殿様
　金百疋
貝英禅院様
　白銀一斤

多武峯様
　御庫様

佐田帯刀
杉井佐渡

沽券役人

一休日

一道坂渡辺四郎殿へ

一京西町鍋屋

許用ニ付

廿八日

三月廿九日

仙石弄

小紋入合

羽織袴着ニ

一

一

一

一

一

一休日

小林程庵

王兆仙

松村友夏

小林程庵

王兆仙

松村友夏

小林程庵

王兆仙

松村友夏

出石藩

御用部屋日記

天保 八 年 四 月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

江戸詰

日記

四月小

荒木玄蕃

清平調
李白
一枝紅艷露凝香
雲雨巫山枉斷腸
借問漢宮誰得似
可憐飛燕倚新粧
名花傾國兩相歡
長得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄杆

一 仍別本在

一 本在奈良之所云者

一 底本者以下略之

一 流布本者以下悉具之

一 諸本者通流布本奈良本也

一 奈良本者興福寺一乘院之本也

一 古本者於當寺所藏十卷

一 別本者知恩院之本也

一 大正藏者

白井新甫

白井新甫

荒木良雄

服部如洋

前田慧雲

白井新甫

白井新甫

表門
通ル
東側
西側
北側
以新番屋
大横小番所
玄関小番所
腰掛町小番所
御番下小番所

本丸番所 本多主人宅ヨリ玄関ヘ
"番ノ"ヲ附テ呼ブ事ト
化カ

北側小番所

一 本丸番所

本多主人宅ヨリ玄関ヘ
呼ブ事ト同断

一 腰掛町小番所

本多主人宅ヨリ玄関ヘ
呼ブ事ト同断

一 御番下小番所

本多主人宅ヨリ玄関ヘ
呼ブ事ト同断

一 御

一 [illegible]
但 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
但 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一休日　十日快晴

一市開向有り
出勤定者荒井

一當分
出代宿加り

右之通出郡申付候間可被
一出郡申付達

芸文郡糸井台一条之儀
同加人出足悪共早速取
内海村ニ着候ニ付此段達中
村方ニ泊り不申ニ付出郡組
宮島ニ而ハ不申雲出神宮
弐拾石積代銀弐両ニ而
渡ニ可申

荒井玄蕃
河野泳次郎

一出郡申付達

書文郡出方之儀
不申候事

河野泳次郎

一例刻出仕

一領海巡行ニ付
一日宿直

十一日快晴

河合庄左衛

一　七ノ足代業願済
　出願人ヲ以テ右同断

一　両御殿出来ニ付有シ出道具類石碑出橋石出切リ
　引渡ス為出勝手ノ方出願人ヨリ済出願ノ上済出
　ス可キ事

一　右ニ付実ニ出入ノ奥須ク安シ出ル者ハ出ル者ヲ以テ済出
　ス可キ事ニ候得共万一出入ノ者出ル者ハ折シ又ハ口論ヲ為ス
　ヤ有出間敷人ヨリ済出願ノ上済出ス可キ事

一　出郡吉訴ノ事

　　書文弘ノ為ノ柳村頴蔵
　　立合為見ノ為ノ中川三寅

一　時ノ宜出ニ依リ願済
　　変革ノ事

　　当ノ代官加リ
　　立合ノ為ノ出郡吉訴
　　ノ事

　　中西源助印
　　出願人ヨリ右同断

一　両御殿出来ニ付有シ出道具類石碑出橋石出切リ引渡ス為出勝手ノ方出願人ヨリ済出願ノ上済出ス可キ事

一　右ニ付実ニ出入ノ奥須ク安シ出ル者ハ出ル者ヲ以テ済出ス可キ事ニ候得共万一出入ノ者出ル者ハ折シ又ハ口論ヲ為スヤ有出間敷人ヨリ済出願ノ上済出ス可キ事

一　出郡吉訴ノ事

　　書文弘ノ為ノ柳村頴蔵
　　立合為見ノ為ノ中川三寅

一　時ノ宜出ニ依リ願済変革ノ事

　　当ノ代官加リ立合ノ為ノ出郡吉訴ノ事

　　中西源助印

十三日 快晴

一例刻之仕

一

一

一出用人之

出久白小取本席
産須出藏人出勿論之事
出藏人日勾

出元祈兒之一通
出中宮小取本席
勤方兒之一通

出元祈兒之一通
願之通
設

出元祈兒之
人名之兩武分
武人扶持之事

藏人 菅四郎

出仕筆頭 清六

文祝出受持 多十郎

出仕筆 今七

日ニ勾
出勤定而出本席

素服二而昌泉以
御産城湯澤温泉ニ
湯治為仕雅有仕合
奉存候扨又一昨日ハ入湯為祝儀
預書簡忝

荒井玄蕃

金沢出京

六位以上人扶持ヲ以テ出仕ヲ許ス
文武出仕停止細井勘右衛門ニ通

文武出仕停止
細井勘右衛門ニ通

右之通以　仰付候間可支配頭ヘ渡之申

出仕事
注進

七

右之通出仕用掛ヲ命ス依テ渡切旨ヲ
仰付候間為心得此段及申達候
三月十六日

右之通出仕用掛ヲ命ス依テ渡切旨ヲ
仰付候間為心得此段及申達候
四月十二日

出仕用掛中

荒木玄蕃

遠ク向方ヘ罷越候節ハ届ケ及出張候
様ニ可致候

右之通出仕用掛ヲ命ス依テ渡切旨ヲ
仰付候間為心得此段及申達候
四月十二日

出仕用掛中

荒木玄蕃

七番
の書付

一出郡左の通

左の通當九日焼失し申

和田うら役高弐拾弐石弐斗
但う岡芸文弥う柳村

大元
類焼 百姓 右衛門 印
同断 百姓 右衛門 印

此須合同郡同村

右之通久兵衛合同人ニ而成業世帯仕候処去ル
三右衛門ニ永銭ニ而譲渡シ候ニ付其節書付差出
置候

但久兵衛義ハ去ル酉年小林ニ而死去仕候

一出郡左の通

左の通一昨日中刻ニ小林ニ而

出石郡
山ノ中
住ノ村
久兵衛

[illegible]

一町奉行ヨリ通知ノ件

[illegible]

新町
水戸屋
[illegible]

[illegible]

[illegible]

元老院会計課用状之通

一 松平淳吉ヲ権大書記官ニ任シ元老院権大書記官ニ補シ兼テ会計課大主幹ヲ命ス

敕任

侍従長

奥保鞏

侍従

奥保鞏

会計課

右御代拝為奉賀清国皇帝誕辰中国人ヲ饗応ノ儀有之候ニ付奥侍従長ヲ差遣ス

敕任

奥宮内大臣

一 叙従一位

右侍従長ニ任ス

但明後廿一日ヨリ

一 叙従一位

右侍従ニ任ス

文麿君敕旨ヲ遵守シ自治ノ方向ヲ誤ラス

右勅旨ヲ以テ近衛文麿ヲ貴族院議員ニ任ス

一 叙従一位

右侍従

但市勝中ニ出勤之上ハ出仕帳ニ
より八出仕帳ニ出勤之事

一 同日 出勤当番

今般石見守殿御勤ニ付
出勤帳
用部屋
大納言様
御番様

一 同日 一名宛

右月次ニ御勤ニ付
但此日宮ノ下ニ而
御勤ニ付

一 同日 作事建物

当二月指引ニ而
御勤ニ付

一 同日

四谷宮殿ニ而人参代相渡ニ付
ニ渡之御書付ニ而

三月

一 同日

大久保加賀守様
出仕帳ニ付
御出仕ニ付

一 同日 酒匂清蔵

老ノ介
三沢屋蔵
出仕帳中
警師中

一 同廿三日

一 [illegible]

右[illegible]

一 同 〃

一 [illegible]

右一件[illegible]

一 同 〃

右之通[illegible]

一 同廿四日

一 [illegible]

右[illegible]

一 三月廿二日

一 [illegible]

右之通[illegible]

肥田宗弥

仰出[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 同日午後 [illegible] 御帰城

一 [illegible] 御出宅 [illegible] 御帰城

一 [illegible] 御出宅 [illegible] 御帰城

一 [illegible] 御出宅

同廿七日

一 下谷二長者町
　　三丁目雲泉
　　寺中
　　是迄借用中之
　　分
　　佛物

右御書出用人用
之

同廿八日

一 左之通
　　佛
　　市民用向有之ニ付
　　係列小話等之用ロ申置
　　候事ニ付今般借受
　　出関係被致候

井上緑彩

同廿九日

一 右八ツ時ニ人ニ付
　　来ル七月朔日
　　出関ス

井上緑彩

同晦日

一 左之通
　　今朝係列者ロ
　　出ニ付

井上緑彩

同日

一 左之通市御書出
　　城外ロ出張ニ付
　　ロ出之節居所
　　ロ出候ニ付同人ニ
　　松代藩
　　左之通
　　ロ出之節
　　ロ出候ニ付
　　生糸ロ

英濃路旅行
出張申付候事
三月廿七日
出張先
一 日々
定痛丸 一箇
右ハ不用意ニ而
書受十七日迄ニ
御用ニ立申
右鋼之通 御名出用人ニ御渡
但右ハ御上ニ而御買上ニ相成候事ニ付
御名前ニ而御買上ニ相成候事ニ付
杉原彌三郎
毎日ニ帰宅
堀田吉次郎
肥田宗助
文川宗右衛門
黒川源八
白坂又二郎

一 日々
出用人
右之通御届申上候
以上
佐田市右衛門
河井丹次
御名前
祥吉

一 四月廿日
京都帰府
御届申上候
以上
佐田市右衛門
河井丹次
御名前
右之通御届申上候ニ付御名前ニ御印御渡可被下候
以上
御名前
御印

一 日二日
出勤定日
御名前

休日

十四日 快晴

十二月廿日收時

一 御到着

一 左ニ掲ケ當日市役所迄参集ス可キ事

一 同市用務ヲ
終リタル者ハ解散
可キ事

一 時間ニ遅刻スル者ハ
場合ニ依リ通知ヲ
待タス解散ス可キ事

一 左ニ通リ用人ヲ申付ケ

御迎ニ

一 金沢太郎

一 小牧頼
用人ヲ

御迎ニ

家内多ク参ル通リ案中ニ有之候ヘ
御含ミ之上人数持参ス可キ事

右ニ付親類ヲモ
一ト通リ可キ事

一 右ニ付郡衆ヲ
当月十日市役所
ヘ御招キ申ス可キ事

一 郡衆ヲ
養父郡
上小田村

大元 官六
類務 利右馬
同 品右馬
同 景次郎
同 長次郎
同 九左衛門
同 右三郎
同 品之郎
同 佑右馬
同 文次郎
同 勘右馬
同 宇八
同 孫右馬
又次郎

同 茂次郎
同 初十郎
同 源十郎
同 雲物
同 元三郎
同 修八後室
同 文右馬
同 六郎兵衛

右獨焼共二部
一右二付獨焼と者石數差
當午秋代支加り
御免仰付候

一右二付獨焼と者石數差
當午秋代支加り
御免仰付候

江戸表御藏番
戸次新物

右之通出羽守江申渡

一 沼尾吉左衛門儀 但 丹波路二ヶ度ヶ出張仕候間 御入部之節 御用人御迎

右之通出羽守江申渡

一 右之通出羽守江申渡

毎々吉法御普請御用ニ付 御出府之節 御用人御迎

御入部之節 御玄関江罷出候事

右之通出羽守江申渡

一 右之通出羽守江申渡

急度ニ及御沙汰ニ

右之通出羽守江申渡

御出府之節 御用人御迎

御入部之節 御玄関江罷出候事

右之通出羽守江申渡

四月十六日

出羽守中

荒木玄蕃

[illegible]

右之通御座候以上

四月十六日　　松岡弥中

十六日四ツ前ゟ雨

一休日　　荒木玄蕃

十七日快晴

一御引出江　　永井玄右衛門

一御客来之通　　河井源蔵

一中営清水
為又右衛門

一庄之助出用人石ヶ渡
　駅新九郎不快又者之内
　而御医師ゟ渡ル処之通ニ付
　石ヶ渡

一世間咄ニ者ヶ申来ル右ハ申年遠州ゟ東海道筋
川場問屋ニ付人馬賃銭渡ル川銭ハ無之大判ニ而
渡ル

一御引出　御供ニ付出用人ゟ書付渡

一右同断ニ付福沢ヶ淵ヲ
大日方鍋吉又出同付ヲ
ヲ渡

一

右

御入組出来ニ付
御用見為仕度旨預書付
但右四人共初ヲ

一出同付ヲ

一出用人ヲ

一同ヲ

右ハ通知御出ヲ祝申渡ヲ

七ヲ 伝八郎
七ヲ 次二郎
七ヲ 伊ヶヲ
七ヲ 覚之丞

小出右源蔵
西山清左衛門
服部善蔵
水原一郎蔵

(朱)
(朱)
(朱)
(朱)

(朱)
(朱)
(朱)

(朱)
(朱)
(朱)

一 休日　十八日快晴

一 例刻出仕

七ツ半

七ツ半

一 十九日曇

一 七ツ半 衣冠

但三人ニ而

右御入湯後出席ニ而御用之有之候間早速登城書取ニ而

小林模次

林田軍治

河合彦蔵

一 出用人達

今般通支配頭附ニ而被仰渡

書取ニ而

仰渡候二付而ハ御城詰御免
被仰渡候間為御礼罷出
御用之有之候ハヽ今日ニ而入湯ハ御断申上

今沢甚兵衛

仰渡候旨申渡

十

一 左之通出掛願ニ而候台出用人ニ申候
出足悪敷ニ而急ニ候ニ付
一 荷持ニ参事
一 乙吟頼ニ参事
一 角桶ニ参事
一 山駕ニ而参事
一 荷たちニ付
一 ニ人ニ而ニ荷ニ参事
一 角桶ニ而ニ荷ニ参事
一 荷ニ参候事
一 杖突ニ参事

一 七幅働事
右之通ニ而ニ荷ニ付ニ百文ニ而ニ荷ニ付ニ百文ニ而ニ荷ニ付ニ百文

初ノ
初ノ

右御入部後当所ノ御用之為法度ノ書出シ差上ル事

仰付ラル

重田善之丞

弓削善蔵

谷甲斐右馬

一古山簡可生石等下簡氣高書判
右同新同序留古等為加下事久

七月九條生痛九日付
御薗生中山御支配大雲寺村
山文祇石湖其訴名濱村山名
医師福田利秀方石婚通前條古氏
為江雅之潘勘之石湖山禮下生

中両御奉行

廿日被仰

一紙

一法光院権中納言殿用之事
家領古石湖濱壱包

右今朝 御奉行加勘

二男二郎儀師通
告法濱古預置
大川宏平儀病死之旨
一紙名有出等為之旨書加
預書置候処名主組頭
七月廿日御奉行加勘

杉井良芳

荒木玄蕃

作久間平兵

例刻出仕　廿一日　快晴

一、昨日御書之事
湯治延引御届御下渡

七ツ　　初ノ

右御入部後御席之儀
御伺之通御免御絵図
被下置候間

竹村源蔵

御伺之通御免御書被
下置候間

弓削善蔵

右御入部後御席之儀　御伺之通御免御書被
下置候間

竹村源蔵

御伺之通御免御書被
下置候間

弓削善蔵

右御入部後御席之儀　御伺之通御免御書被
下置候間

竹村源蔵

御伺之通御免御書被
下置候間

弓削善蔵

右御入部後御席之儀　御伺之通御免御書被
下置候間

竹村源蔵

御伺之通御免御書被
下置候間

弓削善蔵

七ツ　初ノ　右仲次
七ツ　初ノ　岸助
七ツ　初ノ　庄兵

初ら　七日　多久馬
初ら　七日　死
初ら　七日　延命

書減二女當撫濟
淵泉白湯治不吉候事
七日　領ニ而減世話
揚湯之事七日ニ交合鍋書留ニ有清七日

中治之内男果実之事
高麦中ハ堅打用ニ
硯書出用人ニ而差支ル事

小川八左衛門
中西源兵衛
沈口中知

一紀州高野山十二日出家ニ而渡世
今治市兵衛

一厩橋　奥医院橋玄達
下谷御用地ニ住ス
一月ニ
六ツ八出　御城ニ而
御脈被為取候而
御先ニ出宅
城ニ而退出之節ハ
御玄関ニ而

一出羽吉左
上橋
御屋敷橋
大御所御橋ニ
大御屋敷橋

鍋一箱
右法眼被為取候ニ付
御礼ニ

右ハ御用留人ニ付御用留人ニ付

右松濱市御用部屋ニ而

右記　御用部屋ニ而

右御用留人之内

右之通

御城内　市退出之節

右之通

御仲間為取次

右之通

右ハ御所様

之御文

御書

一ノ巻

一冊完

一冊

一冊

一冊

右ハ今回元老院ニ於テ　御発言ノ
御同意ニ付　伊藤参議ヨリ
右提案市制町村制ノ儀ニ付テハ元老院ニ於テ
（加筆定稿ノ
上ニ）
右ニ付　伊藤参議ヨリ
（加筆定稿ノ
上ニ）
（小区ノ戸
数ニ）
右同断同人ヨリ
（加筆定稿ノ
上ニ）
右同断同人ヨリ
（加筆定稿ノ
上ニ）
（第六条ノ
次ニ）
右ハ今回元老院ニ於テ　御発言ノ
御趣旨ニ付　伊藤参議ヨリ
右ハ今回元老院ニ於テ　御発言ノ
御趣旨ニ付　伊藤参議ヨリ
右ハ今回元老院ニ於テ　御発言ノ
御趣旨ニ付　伊藤参議ヨリ
（第六条ノ
次ニ）

大御所様
御座船
白布縫
一そう

二拾八人
一そう

明日
御陣屋ニ為詰
方々御手分被仰渡
右之外海岸警固
方々ニ御手分被仰渡
候間 御出馬
御供之者共
之儀
大御所様江
御断申上候

一そう完

大納言様
御乗船
御召替
一そう

一そう完

大納言様
御陣屋ニ為詰
方々御手分被仰渡
候間 御出馬
御供之者共
之儀
大御所様江
御断申上候

一そう完

右御手船ニ為用意
被仰渡候ニ付
御請書
差上申候

伊東達助

酒匂清右衛門

右之通ニ候ハヽ
御届申上候
以上

酒匂清右衛門

伊東達助

右市用雇

右小間物

右飾之通

小泉湖春

市浦東助

一綿白

廿二日雲

一例刻之記

廿三日曇

大雲院御
法印門之外
御寺之寺ヨリ
法印浪之包

一弘通被仰聞旨之雲上様

御代官
荒木玄蕃

一御雲上様御成門御泊
之節之御門ハ御番之
人ニ而ハ無之候事

一御雲上様御出入之節
用人ニ而ハ無之候

一御雲上様御出入之節
御供之人ニ而ハ無之候

金沢市蔵

工夫休ム

一奇兵隊士

本山用ニ付永死村
法名ハ英神中

右御入籍後出席し候
御用之為従会舘書記被仰付候事

初ら　長ら　伯
初ら　亦ら　助
初ら　新　伯
初ら　賢　熊
初ら　栗　之輔

鳥居精
明治文史
中浦法名
外治墓し処
永井玄栽

廣瀬宰平
川口長右衛
大忠小隼

一出用人足

以御屋敷相詰出席
引移雑事為取扱候事

竹村源之丞

右御入籍後出席し候
御用之為従会舘書記被仰付候事
但文記法前ニ而ハ文記法之事

小泉湖云
ゼうら　孫蔵
御用之為

初ら　秋伯
ゼうら　孫熊
再来ニ而無
ゼうら　清記
初ら

一　弘化元年分彈左衛門
　　筆受人

右屋敷地ニ内入年分彈左衛門
ニ而年ニ壱尺四方ニ而壱尺四方ニ
ニ而年ニ壱尺四方ニ而壱尺四方ニ
ニ而年ニ壱尺四方ニ而壱尺四方ニ

一左ノ通被
仰出候事

勅奏ヲ以テ奏上ノ事
但宣命ノ

一娘高綱後室板倉
小沈物屋ヲ法ノ師ト
再嫁之節ノ事
但前例序ノ

一年頭之節
月次出仕之
但文武ノ官ヲ

一出用人ヲ
以御届ノ婚姻
都テ有之ノ

一左ノ通二官共當
御入部後出府之節
御用之為仕度旨願書ヲ
但文武ノ官ヲ

初ノ 武部卿
初ノ 二卿
初ノ 弓
初ノ 以下兩
致ス 仕丁ヲ
初ノ 米物
初ノ 雄次卿

中務少輔
桜井良藏
美濃治部
今泉吉藏
吉素與左衛
倍田善左衛
倍田勝右衛

初め 雄蔵
初め 甲吉郎
初め 文郎吉
初め 清次
初め 新作
初め 可吉

書洩れ等ありし場合は
熟議の上雑誌に掲載
前項の場所中村楠井両名
宛郵便にて通知す

村長 鴻村與吉
同 指平文郎
小林市太郎
紅井十三郎
青山卯吉
久保作太郎

本間源蔵

一 本会ニ於テ
修学旅行ニ用ヒル
ノ為メ
一 積立金ヲ
本会ニ於テ
保管スル
ノ事

用ヒル為メニ積立ル
ノ場合ニ限リ
貸与スル事

出勤定員ノ内
出勤人ノ事

久保作蔵

一 積立金ヲ本会ニ於テ保管スル者ハ
修学旅行ニ用ヒル為メニ積立ル
ノ場合ニ限リ貸与スル事

小使ノ事

年利ノ事
深田松蔵
代理
唐組

一 本会ニ於テ保管スル者ハ
高等小学校卒業ノ者ニ限ル
但シ其ノ者ノ出願ニ依リ
修学旅行ノ為メ積立ル
ノ場合ニ限リ貸与スル事

青木堅治

第壹號

右之條件高吉仲之二ヶ年中山梨縣北巨摩郡小川八郎右衛門ニ貸渡シ候處右ニ人ニ於テ一ヶ年ニ付金壹圓ヲ以テ右ニ人ニ於テ飛騨國吉城郡古川町ニ於テ右ニ人ニ於テ飛騨國吉城郡古川町ニ於テ

右ニ人ニ於テ

右之通リ相違無之候ニ付テハ證書ヲ以テ

明治拾壹年壹月

一 御日 廿六日

一 御切米 廿七日 雨

一 御用人 達

一 同 達

一 同 左

一 寺社奉行 左

山田二而鷹狩病人
御預ケ之者共御尋
御屋敷ニ而乳ヲ
ヲ名附ケ

右之通申渡候
奈良村ニ而之鷹ヲ
ヲ

廿八日晴

松平右京亮

一 晴 日

廿九日 快晴

一 例刻出仕

一 今朝 御城ニ而

一 今日輸送ヲ不能刻出席

諸家極甲斐之積
出候不医師之好手間
セ之豊成ニ而
ヲ城ニ有馬逗留ニ
昨刻ニ而深ヲ

一 出用人 左

ヲ之通ヲ申渡候ヲ

同伝勘蔵

二度ニせんじ用ゆ

右産の後小児

一附痰ゆ〻神つ絶〻外邪〻きたなきを吐〻むと芭蕉汁を

和合用ゆ〻〻〻よし

右附痰絶急方小記

一切の食物の毒小ぐりきくの草木

きのこ魚多く鮓小児〻〻の症

一切の食物の毒小ぐりくさぐさ

陽小ぐきたなき

右同断

一切の食物の毒小ぐりくさぐさ腹痛

ゆい若くは〻ゆ〻〻〻

右同断

一切の食物小ぐりくさぐさ大麦の粥汁

もの〻〻〻〻〻〻

右の草細用小児

一切の食物小ぐりくさぐさ魚より四歳〻〻

一切の食物の毒小かつおの黒焼
右千金方と書小切

一
一切の食物の毒小かつおの黒焼
右千金方と書小切

一
一切の食物の毒小かつおの黒焼
右千金方と書小切

一

村こゝろ百右衛
沙汰又ハ悔き方
雑俵ゟ取扣ゟ
ゟ百姓御蔵法書
沙汰迷ゟ俵前
ゟ地頭ゟ扣
右ゟ銘

六月

右之通四百年
ゟ俵ゟ帳ゟ
名ゟ前

四月廿九日

山内角中

荒木玄蕃

出石藩

御用部屋日記

天保 八 年 五 月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

御留守

日記

六月六日 御入部

荒木玄蕃

秋田藩家中
由利衆御仕

一 出用人足

一 出用人足

一 出用人足

一 出用人足

一 出用人足

四月廿日
当分中

一　左之通当用人申渡

伺之旨清左衛門
仙石主計

右之通被仰渡候旨申渡

山口勘兵衛
舟本六兵衛

一　右之通被仰渡候旨申渡

清水半之丞

一　左之通
御入部御雪別御供書付　仰付候間可被心得候

清水半之丞

一　右之通被仰渡候旨申渡

清水半之丞

一　小姓頭支配

右之通被仰渡候旨申渡

清水半之丞

一　左之通
御入部御雪別御供書付　仰付候間可被心得候

清水半之丞

内言中堂

竹村権吉
堀善三郎進
荒木勝弓
白井篤郎
渡辺広蔵
之承六十冊

一右通江戸表ニ而御買上
御用之品用人用書状之
中也

一右御代官荒木勝投
人別丈四尺壱寸ニ付
金壱両ニ相当ル

荒木勝弓
江石三計

一右御代官渡辺広蔵投
人別丈四尺壱寸ニ付
金壱両ニ相当ル

八日 雨風晴

一休日

舟本二蔵
長谷右中

一出用人差

右同断

坂深水

杉本福之助

一例刻出之

九日快晴

右之通御届申上候以上

長岡右中

坂深水

一昨日之事ニ付大津平八郎より之書状大井正一郎迄之到来有之候間為持差遣候尤平八郎より之書状ハ無之候間其段申聞候様申越候以上

出関守より注進状写

一昨日之事ニ付大津平八郎より之書状大井正一郎迄之到来有之候間為持差遣候尤平八郎より之書状ハ無之候間其段申聞候様申越候以上

出関守より注進状写

一 出張を命ず

従七位 [illegible]

右者出橋方職人並利七次出橋勤ニ付而ハ一統之人数指揮致シ候ニ付而ハ右当人ハ勿論之儀ニ候得共小頭勤之儀ハ猶更之儀ニ候間其心得ニ而出精勤方可致候事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

保科猪兵衛忠國分
丹波守家村系之小田
孫八郎より者宮ヶ原
病身ニ付隠居
御座候通之御知行
被遣之候事

叙文大革高屋敷
郡奉行之内村ニ
竹村源兵衛儀病身
ニ付隠居
御座候通之御知行
被遣之候事

秦武文市陽村
門垣谷御屋敷ニ於
病用ニ付御扶持方
二三両通之御合力
但病身ニ老名ニ
文武ニ出精ニ御座候

出用人衆

原通之覚

此元ニ而之通
此之通ニ御座候
此段申上候

此元ニ而之通
四谷指之居武人持ニ
山梨平内殿

此元ニ而勤方ニ
而も相心得候事

此元ニ而之通
此段申上候

杉立次兵衛

長谷川宗司

沢口半之丞

白須源右衛門

浦左馬

利七

十一日 快晴

一例刻出江

一 第弐御台

右一件九日同役一統罷出候旨申聞候ニ付

一出用人左之通支配仰付候事

左之通支配仰付候事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仰渡相済御請書差出右之外当分用人差
御免ニ付同廿七日
一御用人一名
右同断
右同断
右之外
御用人
御祐筆
御叙爵
御次第
御入部
御用人
御祐筆
御叙爵
御次第
御入部
御用人
御祐筆
御叙爵
御次第
御入部

一同日

[illegible]

来月二日ヨリ
御役替ニ付
御免被成下候ハヽ
御用人ニ
[illegible]

右同断
[illegible]

一同廿八日

[illegible]

右同断
三指添三人指
[illegible]

但定式
指人数ニ
[illegible]

[illegible]

右御役替ニ付
[illegible]

[illegible]

[illegible]

杉本源之屬

三年一當定免之事

當領及免出之事

御入組之事

御年貢

御年貢

御年貢

会計面之
会計
谷中老台
両角小一郎
肥田宗郎

同
右ニ而出同行之
法道中出分仕
御差図ニ服可
右ニ決而ニ
セ之而ニ
御入被遊
御同人方
セ之而ニ
右同断

同
右猶ニ而ニ
出例出同人ニ
出張帯
谷井恭右衛
山地勘右衛

同
右ニ而ニ
出例出同人ニ
出張帯
同本県一部

同
右ニ而ニ
出例出同人ニ
出張帯
右同人

同廿九日
明日
御立府中
御前ニ而

御意并清書別紙
御用之儀有之候間明廿日
出仕之事

四月廿九日

老中
三浦壱岐
松平伊豆守
松平豊前守

仙石主計
酒句清蔵

右之通被仰渡候間
明廿日
御前江罷出候様
御沙汰有之候間
右之趣可申渡旨
御意候

四月廿九日

松平伊豆守
仙石主計
酒句清蔵

明日
御前江罷出候様
御沙汰有之候間
御供揃之儀
申渡候間
其心得可致

一日

出用人共

[illegible]
[illegible]

関根平次郎

[illegible]
[illegible]

長谷川安之助

右之通申渡候事

[illegible]
[illegible]

[illegible]

右之趣申渡候事

[illegible]
[illegible]

[illegible]

山本友治郎

[illegible]

新蔵

一日

右病気届書之通申渡候事

一日

[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

出汗出候掛軸
南漆一斤
同断
合壱斤
右御薬
以思召御入部之節御献上
出汗出候掛軸
南漆一斤
同断
合壱斤
右御薬
以思召御入部之節御献上
出汗出候掛軸
南漆一斤
同断
合壱斤
右御薬
以思召御入部之節御献上

中野新蔵
松永傳右
同断
合壱斤
右御薬
以思召御入部之節御献上

同断
山北勘右衛門
小林弥八
平林次郎
白井源蔵
松井清治
角田喜蔵
永原弥一右衛門
小川新助
久保辰之助
西村三郎
薄田清三郎
堀田平左衛門
河合惣兵衛
佐治七郎
辻弥平次
同断
山北勘右衛門
平林次郎

右出人分ニ付定之出張勤務被
思召右同断

同
金百疋ツヽ

小倉之部
小笠原平
長岡源命
平尾男吏
中村森趙

同断

右御家勤
思召右同断

同
南濠一作

右之通被
仰付候間
可被得其意
此段申達候也

十月

岡本兵一郎

右御入部中
出勤定之外
書簡取次等
出張御会之節
出勤之事

同断

右同断
出張同断
出張御会之節
出勤之事

岡本権人

渡辺西彦

右之通被
仰付候間
可被得其意
此段申達候也

十月

杉原源之進

御入部
御用掛

右同断

一同日

右通出同月朔日

明後二日

御發駕ニ付出同月二日宇佐人
御雇之儀不申越候ニ付

右為心得申入候

四月朔日　　濱白清藏
　　仙石金弁

小神野源兵衛

一同日

右者

御用ニ而清藏
増ニ差遣申候ニ付

右為心得申入候

四月朔日　　小神野源兵衛

一同日

四名宿

御意之名前ニ而

右御用ニ而御宿申候

御發駕當時

御宿名前

右御入ニ付御宿仰付候

四月朔日　　吉井彦助

一同日

御發駕

御宿

右御入ニ付御宿仰付候

四月朔日　　小林金馬
　　佐田市藏

一同日

四名宿

右御通中御宿仰付候

四月朔日　　茅原
　　傳七

御前達有
如此候間
御通之
一同日
清通中務
船数人共
一六月廿日
右御入部
而酒
一同日
右御入部
之
御飲分
右御入部
之
御意
御自分
一六月廿日
御意
御自分
一同二日
右趣
定而俺
仰付候
一同二日
右趣
仰付候
小泉河春
井上源介

右御用人名中

同廿八日

右御用人名中

同廿九日

右御用人名中

同晦日

右御用人名中

為御給被仰渡候

仙石能登守様
仙石隼人正様
仙石左京亮様
仙石弥三郎様

今日初而御目見被仰付候
御請被申上候
右之外諸事御定之通被仰渡候

四月廿八日

仙石左京亮
仙石主計

右之外諸事御定之通被仰渡候

仙石隼人正
仙石弥三郎

御前逢清列
二濃色大白鳥 清捷箱 清持池 清徒士 同
同 御髪刀 清信番 清駕脇 御駕 清信番
同 清信番 清駕脇
小額
御輦鳥 出車寮 小使
清安笠 清車寮 小使
清轅立同断 清轅出車寮机

御輦鳥
御入輿清行列
御先乗馬 清鞭 次乗馬 清鞭 次乗馬 清鞭 次乗馬 清鞭 次乗馬 清鞭 次乗馬 清鞭
御奥女房 御小鳥帒
御弓一張 清捷箱 清持池 清徒士 大白鳥 清鋪池箱
清捷箱 清持池 清徒士 御駕脇
清持池 清徒士 御口向

清兵士　清綠營　清綠營　清兵士　清綠營　清綠營
清陸路　清小輦　清官差　清差役　清轎夫
同　清梁章鉅　小傳　御駕　清綠營　小輦　清官差　御石馬
押送犯　清刑部　清小輦
押送犯　同　朱桓人　清小輦　清小姐
肥田幕　齋井嘉幕　清小輦　同右
右等有之通幕府之儀式
御服紀　御服紀　御服紀
初清喪制
御服紀　御服紀
同書　清嘉慶

右之外明十二日宮附殿下御前出仕
油揚備之事

六月十二日

出仕井

於右之外同席衆為加中老之

惣極月番之者初日之朝
御門外へ罷出候事

一 十三日 一統病不参井
御供之者 御供之者御門外へ罷出候事

一 通衆之内大炊殿御
御登城之節御門外へ罷出候事

右之通被仰出候事

八月十二日

出納局中

荒木玄蕃

一　御殿掃除

御殿掃除之儀ハ

御造営掛渡辺善右衛門ゟ申聞候事

右一同清用紙屋

出小性頭

出納人

一　御殿掃除

御殿掃除之儀ハ

御造営掛渡辺善右衛門ゟ申聞候事

右一同清用紙屋

出小性頭

出納人

一　大書院出張頭取

但大書院出張中小性之義ハ右同断

一七日不出仕之義ハ大書院出張中ハ大書院一同之事

一　大津駅ゟ出役之井役治一日半役出用状之義ハ

一御帳面類　御下知状
一御械媒状
一御役所ゟ御尋ニ付差出候書付
一御奉行所ゟ御呼出状并出頭之節御下知状書写之
一為御念御定之右同断日割書付
一御奉行所ゟ御呼出之節人別小前之者之内人別之事
一御書幣之節山中ニ而勤定之事
一出用人不残呼寄候節山中ニ而勤定之事
一御奉行所ゟ御呼出之節山中ニ而勤定之事
一其外書状共
右之通御下ゟ有之候ハヽ

一御下ゟ有之候ハヽ遍切ゟ於御用所御会合之事

御入部ゟ御帰城迄御用状御下合之人馬之事　出用人ゟ

御入部ゟ御帰城迄御膳之節御肴御下ゟ有之候ハヽ

御入部ゟ御帰城迄御膳之節御肴御下ゟ有之候ハヽ

御入部ゟ御帰城中ニ御家督御礼之節御下ゟ有之候ハヽ　登国役ゟ

出仕之者
御入込之節
登り屋敷
御門之
内迄
下馬
右之通御
出仕士分
小役
人
下男
出仕士分頭之人
御入込之節
登り屋敷
御門之
内迄
下馬
右之通御
出仕之者御入込之節
出役
可乗打
右之通御
出仕用人
右之通一昨十日支配頭
出仕
右之通御
出仕小姓頭
右之通

一町奉行ヨリ通知書到来ノ事

一出用人ヨリ通知書到来ノ事

一例刻書付

一ヨリ通知ニ付

佐賀藩士

平勘定

十二日曇

日記ニ小田村伊十郎
名三郎

川原町

作七

訳須賀屋清七ヨリ申出ル
尚明日ヨリ暁迄ノ間
訳婚礼ニ付鳴物
方ヨリ申出ル

右之通被仰渡
御用人ヨリ

江連隼之助
出納書方
兼帯治定

一御入国前御用ニ付
出向ノ事

浅井丹治郎
奥詰格之助

右之通被仰渡

一御入国前御用ニ付
出向ノ事

小野沢
弥太郎 四等
大肥藩士

安岡隼之
助

婦減少右御用掛
出来候ハヽ御下渡之程
御願之通

右願之通

御届之趣
御聞済之上御下渡
可然哉
伺之通

右之通可御届哉
御用之儀ハ
御下渡有之度
此段奉伺候以上

二月十四日

出羽守

右之通御届候
御用之儀ハ
御下渡有之度
此段奉伺候以上

二月十四日

出羽守

右之通御届候

同断

右之通御届候

同断

右之通御届候

同断

右扣

右之通申渡候間可被得其意候以上

十二月廿日

右為御礼井上左兵衛

御出勤被成候間可被得其意候以上

十二月廿日

右之通申渡

御代官所

一 金通寶銀 六十枚

（注記：三十枚ヲ以テ加勘ス）

（注記：三十枚ヲ以テ加勘ス）

右當 御玄城中勤方ニ
仰付當座書付ヲ以相渡候間請取
渡書懸當月ヨリ相渡候筆紙中渡

（注記：加ヘ拔十枚）

大書院相控之者當月
別紙當 御玄城中勤方ニ
仰付一統ヲ以取扱用書中渡出候筆紙中渡
候ニ付其當座書付ヲ
組ヲ以取扱候間請取
高ニ応シ同役同席相當合中渡候筆紙
御定高ニ応シ書ニ相渡候筆紙中渡候筆紙

但世帯一玄當ニ人有同人ニ勤ル事

右ハ當別 渡候 御玄帰相濟候ニ付相渡候間
ニ及挨拶

（注記：宿元届ノ端ニ書）
松樓
（注記：當ル月ノ月番）
原岡玄阿

小姓頭
用人

一 右之通當分之儀
一 御入部之節
御通筋浦方川向南側ゟ
惣百姓出屋敷迄一面ニ
一 御座敷出屋敷ニ面シ
御入部ゟ二日前ニ
右之通御掃除
仕候事

六月十六日

一 御宿屋ニ御備
為出迎御對面所
仕候事

一 法花院ゟ御本尊ニ通筋
御宿屋迄
一 御宿屋ニ御座敷
一 御着前ニ大工ニ
右之通當年ゟ
仕候事

六月十六日

荒木玄蕃

西林寺

右之通
御届ニ
お漆ニ而掛り
但シ御入部
御入部前ニ

御
御
一
御
一
御
一

一御祓筆七本 折敷
御祓唐櫃ニ納 注文略
一今朝各賢人之法楽為山方奉
山伏祓筆 一束
山刀 一口
山螺 一口
小役人九人

七日朝
御祓筆ニ本ヲ折敷ニ
阿弥陀経 一巻
松平淡路守殿 御祓筆 一束
同 御札 二百
御初穂 銀一枚
中川修理亮殿 御祓筆 一束
同 御札 二百
御初穂 銀一枚

井之河内村
沖良経 六箱
子 鯛 一折

松平郡山経 六箱

伊予柑 一箱
筑紫 一箱
子鯛 一折

水谷豊後守様
沖菓子 一折

一 松小姓頭衆

一 庄通町舘岩崎村
殿様御逝去ニ付嫁被當月三日沼着
御父様御逝去ニ付嫁被當月三日沼着
世話ニ而一方ニ而ハ御葬礼ニ而度々御往来
此之節ニ而ハ御代参ニ而ハ
二月十二日
松治中

荒木玄番

沢口中次

於御通中津前ニ而
御差免之
右之通同席前書ニ
相違無之候ニ付
奥印仕候
以上

十六日 牧悟

別紙
御父君様方ニ
殿様高明之御事
御愛嬢様ニ御渡辺様
御用人頭
御小姓頭

右御用筋ニ付
御出之御人々様
右同様御渡被遊候ニ付
右同様御渡申上候
以上

御用人ニ
一筆之通ニ而宜敷御願申上候
以上

十二月廿五日

御養君様
御小姓頭
奥平壱岐

此文書は、国立国会図書館の所蔵資料をデジタル化したものです。

去ル十二月表向書ヲ以申上候通、
御同役ヲ以通達御仰渡之趣、
婦人ヲ通達御仰渡之趣、
ヲ以申上候通、御入会之儀、
御意趣ニ候ハヽ、御入会方ニ御
通達ニ御入会之儀
逃亡中ニ付之ヲ
ニ付ニ
御病ニ付
ニ付ニ
服病死ニ付
右同断
病死ニ付
人ヲ以申出ニ
ヲ以申出ニ
同断ニ付
新地
小頭 墓 助
小沢善助ヲ以申出ニ
利 作
新 六
右 八
伍石之内
明町ヨリ方
明町ヨリ南

右相済ニ付親類書ニ
仙波出雲清左衛門ヲ以申出ニ
一町左衛門
御普請ニ付
御普請ニ付途中
覚
一新町口ニ
一俗本町口ニ
一新町口
浜方ニ
右不敬御取扱
不敬
御取扱
石ヲ以
御用ヲ以

一 旦小雷雨降
候方ゟ
一 新町天松庵ゟ
候方へ
一 飛脚着
一 欄干橋口荒木町
ゟ塀下
候方

出仕
出仕人ゟ
出勤
出勤人ゟ
出仕人ゟ者
御城下
名人名人ゟ

八月

候ゟ通十ケ年
一 御通筋浦戸水道
ゟ御見通ゟ之處砂平候事
一 町ゟ掃除入ゟ会所水道ゟ御引
事

一 十九日朝ゟ時ゟ無一日朝ゟ雨ゟ雷
お勤ゟ元引ゟ人ゟ事
一 御通筋浦戸水道ゟ御引事
一 御通筋高石ゟ行水ゟ之中ゟ事
一 御ゟ之處ゟ入ゟ事

九月

一 東通泊通赤沼通下法

一 久畑　同不　御用留
一 同不　同不　御料理
一 同不　同不　御往来
一 小谷　同不　御役写
一 同不　矢根　御芝
一 矢根　上寺坂　御役写
一 同不　縣山　御芝
一 同不　御芝

但泊通ヨリ通ヨリ久畑村ヘ通ル法

一 泊通赤沼通下法

一 右泊通書出用人出用ニ而
出張之節
東通赤沼通下法
一 御當所ヨリ久畑村ヘ通ル法

一 御當所ヨリ
久畑村ヘ通ル法
人足別
札場ヨリ

一 御當所ヨリ
出役
久畑村源蔵
出役
一 同断
一 同断
一 同断

沖洲之境内
拔売買之事

小谷村沖小林
御免許之事

大石屋
下関旅人
仙助

警衛
清水港三番
小林市右衛門

右御免許前書之通沖洲之内小谷村沖小林
御免之上ハ大石屋指并仙助ニ着次第
新町口ニ而通ニ而売買
為致大石屋仙助ニ
御用之儀
御用之節ハ
御用ニ立候
仙助ニ着次第
御用ニ立候
小林市右衛門ニ着
小石屋大羽織袴着
積立置関所ニ而
御用之節ハ
御用ニ立候
ニ着次第三ケ日之間
御用ニ立候
小石屋大羽織袴着
積立置関所ニ而
御用之節ハ
御用ニ立候

書面御免許前書之通
但シ大石屋指并仙助ニ着次第
三ケ日之間
御用ニ立候

右之通大書院之
仰渡ニ付
二ケ日之間ニ仙助側ニ
仙助ニ着次第
仙助ニ着次第
生姓名通札掃除
御城ニ着

御用之節ハ御差図次第早速
一 出張可仕候事
一 町奉行
　　戸川采女正
　　小林村
　　越之助
　　組与力
　　弐人
　　同心
　　拾七人
　　外ニ
　　御雇
　　同心
　　弐人
　　御用之節ハ御差図次第早速
一 出張可仕候事
一 江戸表南御用之節ハ御奉行
　　奥御番院柳営御機嫌能
　　殿様御参御登城御供
　　中柴出用向ハ通知
　　但川支之節ハ通知
一 御用ニ付人出之節ハ
　　御役所ニ
　　御届可申候事
一 右御証拠之書付
　　御用人小林之馬出用ニ
　　差添可申候事

一門

御入訳ケ月給金ヲ以仙石久助殿ヨリ御預ケ置ニ成居候処
此間ケ分ケ中ニ
但法華宗ニ入ル人ヲ法用訳ニ付テ御預ケ置ニ成居候事

一門

第一ノ通此書付ノ
ケ月ノ

一同

給養院様
浄泉院
天英院様
浄安寺ニ
永隆寺ニ
仙石主計

右御代焼香被仰付

松井佐渡

一門

右戸塚訳ケ分ケ
破損並御修復金銀何ニ
御貸ル候ヲ元利共ニ
御返済ニ付テ惣而ケ分ケ
ノ通ニ

仙石主計

一門

右御貸ル金銀ノ
御返済ニ付テ惣而ケ分ケ
ノ通ニ

仲友建物

一門

右御貸ル金銀ノ
御返済ニ付テ惣而ケ分ケ
ノ通ニ

小笠原
肥田家
国善院様

金子三右
友倫云良

一門

右一通仙石用人共ヨリ
御預ケ置ニ成居候
ケ月ノ

一門

右御代焼香被仰付

善光院様
浄泉院
光源寺ニ
仙石主計

一 出用人之
　　順二の出奔

　　出奔之小納戸
　　勤向等之事
　　書之事
　　納戸

　　書之
　　出仕筆小納戸之

出小納戸
　　初義

奥小姓
　　久義

出仕筆小姓
　　大善

小納戸
　　左吉

十七日快晴

一 御用向有之候ニ付出勤之事

一 四時ニ出仕

一 出小納戸之事

　　小納戸ニ付不書
　　出之事ニ候へ共用之ニ付
　　記置候事

平勤之部

杉之次郎

一 出用人之

　　庚申年七月
　　出肥前守江
　　御用之儀ニ付出勤之事

右之　御用ニ付出勤之節同月廿日記載之通
出勤之事ニ候へ共御用之儀ニ付不書記之事

大矢右善門

一 出用人之

　　庚申年七月
　　出役之節同月廿日
　　今日ニ付出勤之事

一 此邨庄行事

明十八日為御迎之網打ニ
不申候事

一 町庄行事

右之通相守別紙ニ
覚一

一 三ヶ寺中之寺

御入部
一本堂ニ於法
一 西福寺南林寺之入掛通廟之東ニ
御用之ニ於法中之ニ
一 福寺寺右同断
但一南林寺同断
一 光明院智明院之入掛通右同断
但一智明院南林寺同断
一 勧学院山伏事

竹村源兵衛
岩波弘

宗都講名

御用之仕立
大蔵院持徳院
之人指遣候事
黒田用助右同断
右扇子箱
名を小倉屋
扇子箱
右之通差遣候事
六月十七日

西瀬兵部

町奉行
御用人
渡辺要助
差紙

右明十八日久納村之
御機嫌伺
御名代
逆井孫八郎
出頭之事

大蔵院持徳院
之人指遣候事

西瀬兵部

町奉行
御用人
渡辺要助
差紙

右明十八日久納村之
御機嫌伺
御名代
逆井孫八郎
出頭之事

一 寺社奉行

今般御城内為警
固 御発駕之節
より御供之事

一 町奉行

一 通町奉行より諸事

町奉行

附渡又ハ雑用等ニ毒ニ而
茶漬等之事

一 御城内 御休息之節

一 御発駕 御先ニ而

一 御用有之

一 右之通ニ而

一 御用有之

作人百姓ニ而
用有之節

一 御用人

一柳亘理

一 寺社奉行

増上寺
寛永寺
本願寺

一 町奉行

一 通町奉行

一　天氣宜敷候ハヽ井川より水ヲ品川へ
宿内通り一面ニ水を注ぎ
掛又市通り一統ニ
宿内腰掛茶
為替ヲ以ヽ
御茶壺ニ
ニ而高十二石
江戸城ニ
御献上書別紙
ニ

一　例年之
出張有之

一　十八日快晴

一　例年之
出張有之

一　出門有之

右
御入部
御乗切
御門又ハ
一　出門有之

横井伊左衛門

一 仲村源寫
面守中明書却帳

一 御入部後御觸之日別紙之通
御名ゟ御用人ゟ同名ゟ書付被渡候事
但寺社ゟ之書付ハ寺社奉行ゟ添書有之

御入部後
御觸之日別紙
御出初
御社參
御佛繪

一 御機嫌
御同斷
御同斷
御同斷

和田村
元平
弥二郎
無平
善蔵
弥助

右之者 御発遣有之候ニ付
故免

右之者 御発遣有之候ニ付
今日迄勤仕之処当三日当地出立
今日迄御免札下ケ
被仰渡候ニ付
帰郷致候

奥泰院様御葬儀ニ付
今日迄勤仕之処御用済ニ付
帰郷致候

小納戸
吉井清蔵
表御医師
渡辺治外

十九日 晴

一 例刻出仕

一 明日 御城下 御道筋之儀ニ付御触書并
御通り筋之内清掃出来仕候方ニ候之
御触有之候ニ付 右之通頒布書面之通
御触有之候

一 仙営清左衛門儀 御用ニ付明後廿一日
右出立ニ付 御道筋為之 御

年寄 御触書面写ニ
御免之儀
御用ニ付 御免之儀
右村より之届ニ付 御帰城之節 御
御帰城之節 御触有之候

以 御触令之候事
御免ニ
写加之 御免ニ付 御
天真院様 御葬
大守様 御初入ニ付之儀

医師

一　御通筋道掃除之儀

（御入込之節
御宿之方

右之通ニ　御座候間向々江御触知被下候
御居間向江掃除出来候ハヽ其段人を以御案内
可申上候
以上

勤定方役

一　出郭之儀

（出勤之節ハ
月番御勤之事

右之通ニ　御座候間向々江御触知被下候
以上

出用人
佐久間西一郎

一　年賀之儀

（御慶之節ハ
御免之事

右之通ニ　御座候間向々江御触知被下候
以上

杉之助

一　明日ニ而歌書出用人出府之儀

（久宝寺
府中領
庄屋

右ハ之通ニ　御座候間向々江御触知被下候
以上

出用人
岡谷雄弥

出用人
岩本與一郎

出用人
新井宅右

一　明日

御急度ニ帰江戸ニ而

用意ニ候出用人ハ

一　出用人左

出道中當割紀文ニ渡
候而ハ宜敷江戸ニ而
ハ村雲ニ

一　久畑村ニ出役候ニ付

駄掛之御持被仰候ハ

御急度ニ御帰江戸ニ而

御用意ニ候ハ明朝出立

一　御入湯御名代

但今朝ハ御名代ニ出候

一　出役左之通

一　御入湯ニ付御断ニ

出用有之

一　御入湯ニ付御断ニ

出用有之

廿日雨四ツ半時

迎来ル

御用ニ付罷越候

御入湯ニ付

御用之義ニ付

御入湯中之為

御逢被成候

紀文

八ツ村

山根宗寿

今暁八半時 御
注料理七時ニ御
注仕七ツ半ニ
六時 御発駕
小谷村 御昼食
同断 御発駕
右ニ御通ら被
矢根村 御昼食
矢根村 御発駕
寺坂村 御昼食
鯨山ヲ 注仕
右ニ御通ら被
矢根村 御昼食
寺坂村 御発駕

八ツ六分
殿様 御昼食 御
御昼食 御
右ニ御通ら被 御
ニて御休泊 御
今日御発駕ニて通

御入部之節

一 進上之名 注年寄 名注迎ニ参
但 御馬 御前ヲ
御黄金注仕ル
注仕ニて御
ニて御休泊

注年寄

御意 入札拾弐人之内
御意 今日八日拾七日投之内同断
一 浄小姓出用人 弐人
弐人御持弓組
御意 入札拾弐人之内
御意 同断
一 惣役人共 右同断 出年寄 弐人
但 出年寄四人之内
御意 入札拾弐人之内
御意 同断
惣役人共
一 御勘定所 浄 一人
浄年寄 弐人
但 惣代共 投之
御意 出掛頭 入札拾弐人之内
御意 惣役人 入札拾弐人之内
御意 同断
出掛頭
惣出役人共
一 浄座間出雷士 出用雷士 弐人
但 出年寄四人之内 不性ニ付投之
御意 出雷士 入札拾弐人之内
御意 同断
出雷士
小役人共

但差本玄番院仕事

一大番院侍之娘ヲ出産年数ヲ経候ハヽ御奥向ニ
召為入用事

一御通掛侍小番院出役ニ而番ヲ勤候ハヽ医師並番入ニ而
出医師並番入ニ而番ヲ勤候ハヽ小姓組番頭ニ而
御意次第ニ出医師ヲ番ニ入ル
但投薬並本玄番仕事

一書物ヲ出通番医師ヲ番ニ入ル書物ヲ出医師ヲ番ニ入ル
但投薬並本玄番仕事

一於御座ニ百石以上之人書物ヲ出医師ヲ番ニ入ル書物ヲ出医師ヲ番ニ入ル
出役ヲ勤候ハヽ医師同断ニ而番ヲ勤候ハヽ小姓組番頭ニ而
御意次第ニ出医師ヲ番ニ入ル書物ヲ出医師ヲ番ニ入ル
但投薬並本玄番仕事

一小姓組番頭出用人ヲ出書院番ヲ出小姓組番頭ヲ出
御同人ヲ出書院ヲ出小姓組番頭ヲ出
御小書院ヲ出
御小納戸ヲ出年寄ヲ出
事

但投薬並本玄番仕事

一納戸ヲ出小姓組番頭出用人ヲ出書院番ヲ出小姓組番頭ヲ出
投薬之加減ヲ為入用事
但右同断

一再任小書院ヲ出
御出勤ヲ出役人ヲ

御用ニ付差出候ニ
御意有之候間書出之
出来之上ハ合印ニ而
御用書投函可仕候
御用ニ付差出候ニ
御意有之候間書出之
出来之上ハ合印ニ而
御用書投函可仕候
御出ニ相成候節ハ
御用ニ付差出候ニ
御意有之候間書出之
出来之上ハ合印ニ而
御用書投函可仕候
御入ニ相成候節ハ

一 大書院ニ
御出ニ相成候節ハ

一 御用ニ付差出候ニ

一 御用ニ付差出候ニ

久納金蔵

右御用ニ付差出候ニ
御意有之候間書出之
出来之上ハ合印ニ而
御用書投函可仕候

出側出用人之序

出小姓頭之序

出用人 古序

出用人之序

両角小一生宿
雨澗作寫

井上孫藏
黒沢角兵衛
山沈勘左寫

小泉洞雲
肥田宗林

田中趣藏
宮川定節
黒川源八
山本一如
桐原万寫

小神野源藏
谷井孝之丞
関口宅右

川上宇寫
白杉藤次

出信之名之分
出用人之事
弱し

一 宿津費用之 御定高
打渡

但明細書之儀ハ出定御勘定之事

一 七味之同断書役ハ勘定之中ゟ

一 勿論御普請小納戸之中ゟ

但給金中ニ有米納ノ分ハ
相渡

一 御入組ニ成候節ハ
大小ニ不寄入組ニ成向ニ
明ケ渡ス可キ家ハ用人共ノ向ニ
限リ

但今日ニ御定ノ家ハ明ケ渡ス事ニ

一 大小ニ不寄入組ニ成向ニ於テ有米納ノ分ハ
明ケ渡ス可キ家ハ用人共ノ向ニ限リ

一 御家来ノ内ニ
病気ニ而
御暇願ノ者
有之候節ハ
御医師ノ
御診察ヲ請
御届ケ申ス
可キ事

一 御家来ノ内ニ
病気ニ而
御暇願ノ者
有之候節ハ
御医師ノ
御診察ヲ請
御届ケ申ス
可キ事

梁田平吉
名代
林村権右

一 御用ニ
而
御出
之節
御供
之人
数

一 御用ニ而御出之節御供之人数

一 御用ニ而御出之節御供之人数

一 御用ニ而御出之節御供之人

一　又附書記官書翰送ル　何月何日
出年書面
御用之儀ニ付出頭之事
一　御用之儀ニ付出頭之事
一　今日出頭ニ及ル通
一　右何御機嫌伺書記官ニ申聞ル事
出年書面
御用ニ付出頭之事
一　出役人ヲ始医師ニ何月何日
ヲ
御発　御意ニ付御用掛ヘ申聞ル事
一　右之通申聞ル旨ニ付出役人ヲ始医師ニ
御発　御意之趣申聞ル事
一　右之通申聞ル旨ニ付出役人ヲ始医師ニ
御発

出頭ニ及ル
出役人

出頭ニ及ル
出役人
出張医師

右残

慰代

一 同断

一 東本通市用部屋ニ御宮中渡

不残

一 同断

一 同断

一 大書院ニ不残

出用番斗リ
御宮中渡

出掃除ノ
外板出済

出用番
出役人

同ク
出役人

出醫師

出掃除ノ
為出済

一 本通出用有之候

六月廿二日

一 為御名初 御城ニ 御宮中渡

御座候趣ニ付此段申上候 以上

九鬼丹後守

廿八日

一 紫宸中趣 御用之為

九鬼丹後守為用

同晦日

一子者 御用日之節時刻ニ
一御左城中之帥白月次之節時刻ニ
右之通出掌中ニ名ヲ記シ置候事

六月廿一日
出用方中

荒木玄蕃

御在城中之帥白月次之節時刻ニ
出用人ニ名 御硯

右

御在城中法度之儀

御硯ヲ以テ申渡之候間出用方ニ
掌中ニ収置可申候

六月廿一日
出用方中

荒木玄蕃

一右之通同席前ニ而申渡

一明日御出之節初判限之外同行之者同様
御出張御供仕候ニ付人下馬之
儀申渡

一明日御初ニ付名札之儀
御入念可申渡

右之通被仰渡候ニ付名札相改之上御供可仕候

但今日医師之内用談ニ而
同役江相伺之上ニ而
名札之儀申渡候事

御入部後御用之儀ニ付
御供之通
御用人江御届可申上候

但
御代官之面々
御出張之節

御用人

御用人

同断
御中小姓
(但御用之節ハ御供之儀ニ付)

御医師

一紀州表江

御免定出業内ニ而屋敷ニ而二日浪ゟ七日浪迄之振ケ候者有之候ハ
ゞ明白ニ出銀弐貫目ニ而御免定出業内

御通之
御同人江之事

一 御城ゟ 御用ニ而人出候節ハ 御用人出候 御用人頭出候節ハ 御用人頭出候
之方江通知有之候 御用人頭ゟ御沙汰之方江通知有之候
而ハ出勤ニ付 項ニ記之候事

但 御用人出勤ニ付 項記之候ゟ出候
ゟ 御用人頭出勤ニ付 項記之候ゟ出候
之方江通知有之候 御用人頭ゟ御沙汰之方江通知有之候
而ハ出勤ニ付 項ニ記之候事

一 御城ゟ 御用ニ而人出候節ハ 御用人出候 御用人頭出候節ハ 御用人頭出候
ゟ御沙汰之方江通知有之候 御用人頭ゟ御沙汰之方江通知有之候
而ハ出勤ニ付 項ニ記之候事

一 出役人数出候節之事

御能 御宴

右ニ同

御城ゟ 御能ニ付 御宴ニ付出勤之節之儀ニ於ハ
御同人江 御沙汰有之候

但 御用之節ハ 御沙汰ニ不及候

一 御用後 御出初ゟ御用後迄之間ニ於ハ
をゝやゝこれ

一 御用後趣出仕之節ハ 御出初ゟ御用後迄之間ニ於ハ
御同前ニ御座候

御出初ゟ御用後迄書物役之事

御種出門之節出役人醫師之於
出用勘定　御意之旨申等出類頭始外扶持
両人之大書院出用席斗之事
但出門之節銭一切　出門之節一切之儀
大書院出類頭之外扶持方
一切
之出用席斗之事

一出小姓類之

妹生母病気ニ
付父弘人麻村
元之醫師同伴
松軒母為両之
為仕候名

娘糸種甲斐
出奔中和国之書
為両之為仕候名

宇地孫蕃

右ニ通ニ　御出之名ニ而類頭之中渡ス

右同人

一出門之
出書請之節之

御出初之節　御城一之間
御陽後之事

但　村戸ハ御城代之名
出用席斗ニ

高時之役有

一　右御下知状、下出羽国分出羽国分ニ届ケ之
　出羽分ニ渡ス
一　豊岡当番中ヘ
　御意之趣被仰渡書物被ニ入
　御請返書添ル　御書物ハ
　町奉行ニ中渡ス
一　出入難有

自備前分
御領知津高ニ村ニ
ニ而ニ医師中間ニ
為療用借

宮川宗霖
万屋
傳七

右今般　御城ニ　御坪之間ニ於テ
　御用之ニ
　但出入之合出用人橋迄馬法免

日雇頭
万屋
傳七

右今般　御城ニ　御坪之間ニ於テ
　ニ付出入ニ及挨拶

廿二日　快晴

一例刻之通書翰取次ニ而差越ス

一　紙之事ハ

右達　御聴

出用人共

酒匂清蔵

一出勤之事

同断

西川周蔵

一出勤之事

同断

松平

右之日　御出初ニ付御目見

被仰渡候趣左ニ

御目見

出用人

一松樹趣意

御出初之節ハ御目見之儀ハ

御免被仰渡候ニ付

御目見ニ不及候事

余程　御用達ニ相成候処、文名相聞
　　　

出用人之下候

右宣旨書弁八月廿日出京道中無滞
下着国衙官
舎奉院掌宣旨綸旨院宣
之事
右二月四日庁宣如件

杉原源之進

治部少丞紀重経奉
勅宣

吠冒雨

一勅答蘇我氏之氏人等
依奏状之旨
宜令改正

宮川定之助

同白清蔭

右達 御所

一勅答蘇我氏之氏人等
依奏状之旨
宜令改正

亡父良治存命中家業申付候ニ付當右遍
[illegible] 仰付候ニ付醫業ニ而相續致し申候
[illegible] 但シ之ヲ打捨
一 [illegible] 當巳十月十四日出屋敷
奥表院御差押被仰渡候ニ付家財
[illegible] 朱印用状之通

[illegible]
一 [illegible]
但今日不動之分

一 松平[illegible]

[illegible]
右之書附

[illegible]
一 [illegible]

右之通之七郎當
仰付當午年分
一 此間分

右ハ御預用金利間分
[illegible]
一 此間分

[illegible]

杉原源之丞

杉原源之丞

杉原源之丞

此間分

此間分

此間分

作治三七郎

作治三七郎

外ニ悪事等ニ付、自然ト牢屋ニ入ル者ニ於テハ、
勿論之事ニ候ヘ共、軽キ科ニ候ヘハ、入牢ニ及ハス
牢屋之外ニ於テ相預ケ置候事モ可有之候

御請書

仙石陸奥守殿
但馬守家来
西尾源蔵方
孫次郎
石火矢家来

右之者儀、及口論、通路ニ迷ひ込候ニ付、
御咎ニ被仰付候ハヽ、御厳科ニ
可有之ニ付、相違之者ニ預ケ置、
可申候、為後日仍而如件

寛政十年
八月十日

御石火矢
打方

秋月能登守殿

右之通、急度可申渡旨、
御老中被仰渡候間相渡申候、
以上

午閏八月廿八日

御腰物奉行
青木兵庫

右之通、急度可申渡旨、
御老中被仰渡候間、
申渡候、以上

午閏八月廿八日

青木兵庫
代理
倉西定信

右同断、
申渡候、以上

午閏八月廿八日

御腰物奉行
青木兵庫
代理
倉西定信

右同断、
申渡候、以上

午閏八月廿八日

御腰物奉行
青木兵庫
代理
倉西定信

右同断ニ付申上候

（貞代
　金百疋

右同断ニ付差上候

一、一通 町触写 但同断ニ付略

徳川民部卿様御領地之内
写掲載ス 東京八日之便心安御届候
取扱之者ニ而も無之候間
以上

二月廿二日

旧幕中

荒木玄蕃

右書之通 御届申上候 同断ニ付略

町年寄中

右ニ付而ハ 御差支無之候ハヽ 同断ニ而御届申上候

同断ニ付

貞春院様御一代 御霊牌

（旧幕臣
　勤仕者）
杉本源之進

右ハ当月廿日病死仕候ニ付
御届申上候

杉本源之進
（旧幕臣
　勤仕者）

右之通御届申上候以上

御社参
御佛事
御法事
御開帳
御子生
御誕生
寺院心祝
御開帳
名主之名代
御開帳
月次

六月二日
同廿日
同廿六日
同七日
同九日
同十一日
同十二日

今日御佛心願寺表法会有之候ニ付名主代ニ而罷出候様申渡候ニ付罷出候処ニ而右之通申渡候ニ付罷出候

但向ニ而寺社奉行ニ届候ニ付御届書ニ及ハス候

右之通申渡候ニ付罷出候

右之通申渡候ニ付罷出候

右之通申渡候ニ付罷出候

六月廿日
子供
御同人倫日ニ
同七日

右之通申渡候間
六月廿四日
此同刻中

荒木玄番

廿五日 快晴

御別当江出書箱被
一昨日之通
此用人へ渡ス

西川筒蔵

御同人例之通

御同人書物之事

右一件昨日申渡候
之趣申出候

御同人此用書投
御言有之候間此用書

但書
御同人ニ而ハ
御同人

杉本源蔵

寺社奉行

久須摩次 御藏
御同人ニ而ハ
御同人

持地院

一通

佛牙旬於沸用就屋下渡

沸用向有之

右同断

一通

小林頼秀

一通

稲垣源之丞

次七日南風雨

一 御判出仕書物被差遣候 仰付旨被申渡候

市用向有之用事済次第可罷出候

一 忰小姓願達

右同断

小泉洞吉
肥田宗助

一 右之通被申渡候 仰付旨被申渡候

小泉洞吉

一 右同断之者 此度人下屋敷江被差遣候

小泉洞吉

一 右之通被申渡候 仰付旨被申渡候

小泉洞吉

一 右同断之者 此度人下屋敷江被差遣候

小泉洞吉

一 右之通被申渡候 仰付旨被申渡候

小泉洞吉

右申用紙何枚何冊出来候ハヽ
仰付次第ニ可相納候事

如斯人差添候段
書面之通ニ御座候以上

右ニ付出願之趣御聞済被
成下候様奉願上候

御白清書

出願増冊数何冊

出元行届之通
出願小願ニ
相違無之候ハヽ
奥書之通
被仰付被下度

右之通証

仰付候ハヽ
奥書之通
被仰付被下度

出願人自筆

友寿

出願願無滞聞済
相成候様奉願上候

出元行届之通
出願人(小)
出願小願ニ
相違無之候ハヽ
奥書之通
被仰付被下度

右之通証

仰付候ハヽ
奥書之通
被仰付被下度

出願人自筆

長吉

奥書

廿八日 晴

一例刻古江堂書籍改之儀
同人ゟ之

一御子様方ゟ南日法被遊候節
一同出用被仰付
ゟ之当番ゟ之

一出用人ゟ
右之通被仰付候ニ付
御請書差上申候
以上
十月

一出用人ゟ
右之通被仰付候ニ付
御請書差上申候
以上
十月

一出用人ゟ
右之通被仰付候ニ付
御請書差上申候
以上
十月

廿九日快晴

一 例刻出仕書物改之

一 来月二日

御社参ニ付供之通御用意被仰付候

稲荷
諏訪
神明

八幡
祇園
鎮吉
賀茂

雄沼一振
龍蹄一疋
代金百匁

出初
南蔭寺

同

浪寺参詣

同

浪寺参詣

利常
秋常
吟味

六月廿九日

一 出頭式ニ而勤方之通支ニ而渡ス

出同月二日
御用部屋ニ而
御用部屋ニ而

出歌式中
前ニ而ハ
石投候ニ而勤ラレマセ

来ル二日
出歌式ニ而中
言ニ而勤ラレマセ

出小姓頭ニ

出書物改ニ

出雲半挟
白団扇
扇子網
昆布
出菓子

右者、兼而出訳ニ而、勘定之上請
取、六月廿九日
名前度之儀
不参入ニ而

右明日出雲より着せし
御免ニ付、兼而申渡置候
ニ候ハヽ、名前ニ而御用弁
ニ而請取ニ

名前度之儀
不参入ニ而

右七ツ時町橋詰ニ集
之筈ニ付、其節申渡置
候入用ニ而御用弁ニ

右ニ付、
小林頼蔵
渡辺作介

右明日紀ノ国ニ而
為買物

添状相渡且又同席ノ
貴泰院掛ノ何様ノ縁故ニ
右明日御届書ニ
為差出候ニ付
御用ニ付御用書役
小林柳雪
渡辺清介
御意有之候ニ付
御用ニ付
御意有之候ニ付御用書役
明日出勤ニ及候ニ付
御殿ニ於テ
御用人迄
御通知
御方小頓ニ

一　休日伺濟候出小納戶之事

毎日

右老院掛
御目見已下
御医師

右當　御入部
御用之為江戸令領書出用人之事

出用分之事

御用向相達之事
右之外諸事御用掛之事

一　

一 朱明之月常書於側以開人志云

出石藩

御用部屋日記

天保 八年 六月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

御用部屋日記

六月小

出石藩

荒木家蔵

朝日 [illegible] 南風

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一 明日

右 件代香奠到

右 件代香奠到

右之通 件代

右 件代

右之通 件代

右之通 件代

右之通

弘本坂宿
関坂宿より
六十宿

深川宿
大貝宿より
二十宿
白土宿
黒野宿より
三十宿

玉川

深川宿

七日 辛酉 雨 注云 注云百廿下

一 平野 許可之旨申入 仍其仕法事 海後之次相

談候事

一 心 許容法度婚姻

右条々違犯之輩 急度可申付事

一 今日御祭礼之事

一 三年寄 許可之旨申入 仍其仕法事 海後之次相談候事

一 大工頭 許可之旨申入 仍其仕事

一 作事奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 普請奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 町奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 勘定奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 町奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 勘定奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社奉行 許可之旨申入 仍其仕事

一 寺社

一

渡辺庄

一寺社

仁王寺

同念寺

本高寺

雪雲寺

西林寺

如来寺

西方寺

東光寺

称名寺

見性寺

在 福成寺
〃 光明寺
〃 智明院
在 金祥寺
光明院
心光院
松雲軒
在 京都清水 願成寺
〃 正眼寺
〃 極楽寺
〃 勝福寺
京都清水 勝林寺
在 西京寺
〃 安楽寺
〃 長光寺
〃 宝福寺

十日

一

一休日

一公用人ヲ

一小使ヲ

一休日

一公用人ヲ

一小使ヲ

十六日

右御用状

十六日

十九日 牡丹大将

一 出用人至

一、開人達

一、開人至

許慈悲右衛門
一位員生
今朝行年
右之仕置
行年卯歳
黒川源八

出石藩

御用部屋日記

天保 八年 七月

出石町公民館蔵

御支城

日記

天保八丁酉年

七月大

酒匂信篤

沖年壽
此小姓願此用人
此勝自富此用人
此勿願
此弱老壽
此勤宅壽
此稼士願
此弱用財
此富清壽
此養元大
免宅願

河白清氣清
一柳亟現
稻烟深宜農
雨山清氣
竹村深氣
徐四鄰氣
雁見四鄰氣
松井宅交
小山成門
中鴻作氣
地修宅清

大清

增田反物

順於善氣
圓滑動氣

宣統皇編號

一 例刻出仕書類取扱之儀ハ當日清祓濟次第
一 一ノ柳當日當日清祓濟次第
一 今朝 御城内ニ而取扱之儀ハ
一 六月中當年人別帳出用人ニ相渡ス
一 出願旅行六月中述之通相滅ス
出勤同前ニ
一 一同出用部屋ニ而
當日當務中ニ

出小性頭
出用人ニ

一 御用ニ而當明二日
四時出仕之筈ニ候間
可

一 當年慶賀
不參人名前

右之通相間違候ハヽ
出間敷旨ニ候間急度
可

御城ニ而
御咎可

人分之内
御免
御咎可申候

岡野越前

一町在所

右之通此度雑用米九日於評席中
如今吉文白雑用米弁平日一奥屋町
病身之処相勤事有之
之儀有之候間御褒美被仰付候一
お竹事持ち心掛宜候ニ付為御褒美
三貫文ツヽ遣之候間可被
致旨被仰渡候

如斯御座候 村本町
以上 名主 印

右之通相違無御座候 奥屋町
以上 名主 印

当出時之儀ハ
御用捨
右之通ニ付 御触書領収

一寺社之儀
三ヶ寺ヶ例年
御公儀様御法事被為在候ニ付御勤之候
ハ寺社之儀
但三ヶ寺ヶ書付之儀ハ
御触書ニ付

六日朔六時
一御父祖掛方
十日朔六時
一大慈院掛

六日朔六時
一御父祖掛方

四日朔六時
一父真院掛
六日朔六時
一實相院掛
八日朔六時
一大恩院掛
日日六時
一法光院掛
十日朔六時
一御父祖掛

第九十六日當六時之例年忌
三石增之外物入無之

一紅花
一白砂糖
一干菓子
一菓物
一酒
一肴

一右通知　御使　御雇
下役者　高附弟招方
　　浄平日浄行者之
浄持法
浄行者
浄祇士
浄駕脇
浄給者
浄祇士同方
出自昼小顔
出陰尺

一右浄行者　弟子
　　小僧
　　壱人
　　壱人
　　壱人

一出用人達

一右浄行者　弟子
　　小僧
　　壱人
　　壱人
　　壱人

一出用人達

一当出時弟招方
御社参　御供浄祇士同方
御出ニ弟子浄行者
御用捨ニ付
　但御城ニ　御泊之初
　御前清浄ニ
　御城詰ニ弟子

[illegible]通[illegible]候[illegible]
當此時柔拍[illegible]
樓大[illegible]百忠書
御用捨

[illegible]通此間[illegible]江戸[illegible]
此節[illegible]
此柔拍[illegible]
却[illegible]
[illegible]

七月二日

此時[illegible]年

水[illegible]九

[illegible]
[illegible]
[illegible]

大納言様御中納言様
大御所様御中納言様
御名代
御本丸
御台所様
御名代
御本丸
御台所様
御名代
御本丸
御台所

右同文之
六月廿
結
服部中務尉
五二重
右同文之
名代
六月廿
結
松平伯耆守
宗發
右同文之
名代
六月廿
結
井伊掃部頭
直亮

三日晴

一例刻出仕書物改之當日業済伺届候事

一御用之例之通

一町奉行

奉之通以上二日勤於評席申候

書之通相違無之候

寅四月

松平伯耆守

久貴

右之通申上候

以上

四月廿日

右之通申上候

以上

四月廿日

右之通申上候

以上

四月廿日

御代始
荒木玄蕃

右今朝相勤罷出候人々之通 御届

一 公方之御方宅宗清方へ御例之通 御出
御佛前之節 御同道之時
御序ニ其所ニ而御暇乞有之 御帰
一 御序後宅ニ而御書物被仰付候事

右之通 読書物被
被仰付候ニ付
一 熊谷兵部七左衛門
右之通 御届
御礼ニ罷出候人数
御礼ニ罷出候事

軍司鉄
文
熊谷兵部
三好右馬二
弟 叔父
西川越後
佐竹通
伯久間四之亟

右両本願寺当御支配
第二下渡之御書付今
津口之方より通ル
達 御雑

小川八右衛門
右田喜左衛
高田十郎右衛門
中村小次郎
太肥勝之助

一 今村源蔵
当使僧ニ被指添 札場ニ今朝
御触書之写
一 札場ニ今朝
御触書之写
一 札場ニ今朝
御触書之写

津口之
大署之節
思召ニ今般
当津使僧
七月

信楽寺
林寺

一 今村源蔵
当使僧ニ被指添 札場ニ今朝
御触書之写
一 札場ニ今朝
御触書之写
一 札場ニ今朝
御触書之写
一

一同百文ヲ

一令百文指上

一右之通被仰付候間寺社奉行両人ヨリ為御届宿々ヲ
指シ通筋場所ヲ見分ニ可罷越候

但本文之通為御届候ニ付テハ寺社奉行両人ヨリ為御届宿々ヲ
為御届候ニ付テハ町奉行ヨリ為
御届候ニ付テハ御用ニ有之者ハ不苦候

右之時候為御届候ニ付テハ御用ニ有之者ハ不苦候
御届書指上ル通

松枝越後

寺社奉行為御
届小預ケ

一令百文

右之通被仰付候間為御届宿々ヲ
指シ通筋場所ヲ見分ニ可罷越候

但本文之通為御届候ニ付テハ寺社奉行両人ヨリ為御届宿々
為御届候ニ付テハ町奉行ヨリ為御届候者不苦候

右之時候為御届候ニ付テハ御用ニ有之者ハ不苦候
御届書指上ル通

松枝越後

仙石陸奥守使者

大暑之節ニ付不取敢以使者為御届申上候
右之通被仰付候間為御届宿々ヲ指シ通筋場所ヲ見分ニ可罷越候

但本文之通為御届候ニ付テハ寺社奉行両人ヨリ為御届宿々ヲ
為御届候ニ付テハ町奉行ヨリ為御届候者不苦候

右之時候為御届候ニ付テハ御用ニ有之者ハ不苦候
御届書指上ル通

松枝越後

仙石陸奥守使者

大暑之節ニ付不取敢以使者為御届申上候

七月

一令百文

右之通被仰付候間為御届宿々ヲ指シ通筋場所ヲ見分ニ可罷越候

但本文之通為御届候ニ付テハ寺社奉行両人ヨリ為御届宿々ヲ

仙石陸奥守使者

松枝越後

本願寺御門跡使僧
正林寺
代
信楽寺

但世襲者
之旨申進拘義ニ付市用屋社
奉行支人ニ而ハ無之候ニ付右
雇入候ニ而ハ無之候ニ付右
雇入候ニ而ハ無之候ニ付右

一市用人達
左之通申渡候事

一市用人
左之通申渡候事

此度許差免候
此小前戸数減
候ニ付将当時支配
之半減ニ付之ニ
名難減候ニ付右
三名ニ付扶持
神谷十蔵
以上

右之趣可申渡候事

右之趣可申渡候事

及挨拶
御用人
月番ニ而申渡之
名代

及挨拶
御用人
月番ニ而申渡之
名代

横井一右衛門
酒匂彦三

右御仲間御取扱被仰渡候ニ付
御用人江書物以挨拶ニ罷出候用人
御同役江書物以挨拶ニ罷出候用人
井上友之進

右御仲間御取扱被仰渡候ニ付
御用人江書物以挨拶ニ罷出候用人
御同役江書物以挨拶ニ罷出候用人
井上友之進

浄山祝額出来
右用人

浄山祝額出来
右用人

右之通申出候間御聞届被下度
一出用人達
右之通申渡候間御届書請奉仰上候
以上
小嶺源八郎組
同松之助組　平
平尾七左衛門組　久次
出役書小頭　喜次
名村御代官所
改名
一出勝自分出用人達
右之通申出候間御聞届被下度
以上
大坂御蔵屋敷
詰之節改名
小谷清

右之通申出勝自分用向ニ付堺表江罷越候間八木町御役所江御届申上候
以上
堺奉行所
堺表
名代
市之助
小林助

一例刻御証書御改之節
御用見物之通
不日御承

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

御茶坊

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

但　江用番清蔵之下役ニ分　御茶坊本間詰

勘定方ニ之通

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

右今日於　御茶坊本間ニ被　仰渡之候

但用番清蔵之下役ニ分　御茶坊本間詰

勘定方ニ之通

右同人

一　此間人達

右之通於江戸用被　仰渡候

以御慈悲当十月更方江

同居江罷有候間

御扶持方被　下置候

同居候間御書面ニ

右同人

一　此間人達

右之通於江戸用被　仰渡候

書之面ニ通被　仰渡奉畏候

御茶坊

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

但御吸物代金両是ハ

御扶持方ニ

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

但御吸物代金両是ハ

御扶持方ニ

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

但御吸物代金両是ハ

御扶持方ニ

右同人

一　此間分申渡

右之通被　仰渡奉畏候

書之面ニ通被　仰渡奉畏候

御茶坊

高ノ奥山通猟区
仰付ラレ
右同断
仰付ラレ
右同断
仰付ラレ
二男三郎儀
高ノ山鹿区
右同断
紀伊国ノ通猟区
仰付ラレ
右ニ通達
仰付ラレ
一紀伊国ノ山猟区ニ

一於二有要用ノ諸ノ
一右酒匂売之高ノ内ニ
　　此明キ之高ニ相加ノ
　　御預ケ之銅ニ通ノ
一此銅當用人ヨリ

右之通中出勝手方
　　ヘ
御同役ニ
御意ニ

桜井一左衛門

山辺甚吾

但シ御同役ニ
御伝言ヲ

一例刻書紙箱紙之銅
　　六日快晴

御代官
荒木玄蕃

御代官
清水縫殿之助
清水飛騨守
奥秋院柳
清水内匠頭
御代官
清水縫殿之助
清水図書頭

国賀人院柳
御免日ヨリ有
當年中
實相院柳
法能院實有
宗澄寺ニ

右今朝相觸達 御祝儀
一御用之例ニ通
一明ノ七時式書此例ニ
此間有ニ日相撰
一出用人左
右ニ通ル 御有合中渡金
岡友淳九帝

一回人左
右ニ通中渡候ニ付
當通序
此橋御
配願中上金
昌寺
松右衛
此旅人御
書記
源蔵
此坊主
真弁

一出入信ニ拘信ニ人拘ル処
之信ニ
御合七信ニ人拘ル
一出入信ニ拘信ニ人拘ル処
之信ニ

高台
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 諸年寄衆
御用之外出屋敷
事

一 諸小書院ニ
御老座 御出之節

一 同席之御用人
御用ニ外出之節
大書院ニ
御老座 御通之
節

一 諸向役人
御用之外出之節
御老座之順

一 諸向役人
御用ニ外出之節
御老座之者ニ
出合候儀ニ
付 御用人
出勤之節

一 御側衆之
御居間ニ
御老座之者
出合候儀ニ
付 御用人
出勤之節

一 御側衆之
御居間ニ
御老座之者
出合候儀ニ
付 御用人
出勤之節

一 御鍵之
御帯刀
御免之
御用人
差之
御指南
黒
御指南
黒

一同弐拾弐貫九百弐拾九文ヲ
一同弐拾壱貫四百弐拾八ト七ヲ
一同七貫百拾六ト壱ヲ
〆六拾壱貫七百七拾弐ト弐ヲ

内

弐貫百三拾七ト弐ヲ
弾ら
六拾弐貫三百七拾弐ト弐ヲ

町年寄 喜兵衛 印

下御 心〻中
養父郡

一例刻お仕置書籍役ニ而
八日晴暗 八ツ後雨

御代官 荒井玄蕃

一御同尺例之通

右今朝相触候条
御注進

一大良院様
同御二方
同寺江

一法光院様
法善院様
宗珍寺江

一例刻書注疏書籍板木之儀
一御用之外通
一町奉行
右之通可心得候
九日 牧晴

[illegible] 者共家数之内
[illegible] 御用書完候節用意之
[illegible] 人数者
[illegible] 病人之儀
[illegible] 外出
[illegible] 外出
[illegible] 出懸通之
[illegible] 外出

理性院

叙父將右衛門尉
[illegible] 父七之
依親類之願
御免之[illegible]
[illegible] 如
[illegible] 親類之願

神谷七藏

右之通可心得候
御免之節用意之
御届

一町奉行
[illegible]

杉原源七郎
井上三郎兵衛

御用懸當明當時
之屋ノ内ニ有之候
右ニ不限候ニ付
御用懸當明當日
當時出仕候御用人共ニ
波多野
澤井
松村
八

一 去巳年物成
年

右通去一月
遣し候ものゟ
其元御地
之義ハ一切
右之通町ゟ
仕来候
一 古御屋敷
一 右之通御
御奉行
一 右通御奉行
町ゟ
之御方ゟ人
七月

一 例刻ゟ
十日 快晴

一　大慈院様
　　沙弥源栄　分
　　御手判

一　右之御知行高人数
　　御同文御書
　　被下候事　御領

一　御国之儀御開闢
　　御領　御給
　　但人数ハ百人ニ弐分
　　入給

　　婦給者
　　御領

一　波多佐渡
　　（波多佐渡　元和五年川内藩主）
　　之伝馬次第
　　井上主殿

一　杉原源之進
　　駒給者成
　　駒給候之事

一　御国之儀御開闢
　　御領　御給
　　杉原源之進
　　駒給者

一　波井家領
　　井上家領
　　之伝馬次第
　　婦給

一　御領給者分ハ人数ニ応
　　（波井家領
　　井上之伝馬次第
　　婦給）
　　（元和初頃
　　弓削十変）
　　御手形之儀

一　御国之儀御開闢
　　御領　御給
　　被下候事　御領

一 屋敷
北ノ方ハ
二而七拾弐坪余 津波流失
但向屋敷ニ而
御用ニ付引移ル

一 畑
西ノ方ハ
百弐拾壱坪余 津波流失
東ノ方ハ
九坪余ハ流失

一 畑
西ノ方ハ
百弐拾壱坪余 津波流失
東ノ方ハ
九坪余ハ流失

一 右書付之通ニ相違無御座候 以上

仙石主計
主席ニ付名代
荒井安喜

御届書之趣
御用ニ付引移ル
ニ付 津波流失
之旨

森 斗秀

一 右之通ニ候 以上

仙石主計
主席ニ付名代
荒井安喜

一 書付之通ニ相違無御座候 以上

仙石主計
主席ニ付名代
荒井安喜

一 明ル六日御渡之向ハ
此御方ヨリ出役人数
出ル筈ニ付 其節
出ル筈ニ付 其節
出ル筈ニ付 其節

一 右之通ニ候 以上

仙石主計
主席ニ付名代
荒井安喜

御用ニ付 御届書之通
但宅地ニ付 御届書之通
右屋敷ニ付 御届書之通
出ル筈ニ付 其節
出ル筈ニ付 其節

熊谷善平

一右二名當用人ノ為メ雇入ノ儀
一今七附ヲ以テ御用向勤方精勤ニ付
一柳金圍ノ通賞與被下置候事
以上

熊谷典吉
石代
西川惣右衛門

一右之者共儀入湯御免被仰付候事
以上

一右之者共儀入湯御免被仰付候事
以上

十一日 日々雨方凡小雨

一大坂書狀之向昨夕着今日ヲ以テ差出ス
書狀披見之上何時ニ而も差出ス事

龍三郎殿
勘兵衛殿
留守居
市之丞
治右衛門

右之通被仰渡候ニ付
御請書
御用人
御奥御右筆

一
御小書院御遠慮御廉々被仰渡候ニ付
御請書
御用人
御奥御右筆

一
今日被仰渡候ニ付
扇子一箱
右之通被仰渡候ニ付
御請書
御用人
御奥御右筆

一
右之通被仰渡候ニ付
御請書
御用人
御奥御右筆

一 此用人並
此用紙使用者
作成之
此書法等改正
ニ通ニ付 作成之

右之通ニ付 此欄 役間森門

一 同並

右法用紙使用者
ニ付 作成之用人ニ付法等
改正ニ付 作成之

一 同並

右ニ付通ニ付 作成之

一 同並

右ニ付通ニ付 作成之

一 同並

右ニ付通

[illegible]通[illegible]
一 金中町[illegible]
戸印[illegible]
一 寺[illegible]
一 夜中要所[illegible]
一 曜[illegible]
[illegible]
一 夜[illegible]
一 沖丁場[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 出用人左
左[illegible]通支配願[illegible]
出元行七時[illegible]
[illegible]
出[illegible]

十二月 [illegible]

一 例刻出仕[illegible]
一 御用[illegible]通
一 出用人左
左[illegible]通支配願[illegible]

十後ノ抗ノ後

又瀬宅ニ於テ積気ニ付
松平伯耆守様ヨリ医師
小谷泊庵方ヨリ又々
右藤表ヨリ遣ニ而
永ノ出張ニ付

一江戸表ヨリ表之者ヨリ出用状ニ封ジ出用人ヨリ来ル

守山永右

十二日晴

一例刻ニ仕書物被
御用ニ例ノ通

一町奉行ヨリ
左之通ニ十二日於用席宅ニ
十後ノ事

不埒ニ付
逃ヨリ
捕ニ
御構ニ

理性院

一明十三日ニ寺社ヨリ出張ニ
御仏前ニ
仰出ニ付出用人ヨリ
一出用人ヨリ

二ヶ寺ヨリ

[illegible]
御屋敷表ニ而御用向
[illegible]
出役 御作事奉行
[illegible]
御普請御用
[illegible]
[illegible]

右之通積書差出候間
一出用人足
金壱両壱分ニ而壱間
[illegible]
[illegible]

一混札ニ指八貫六百三指七匁ニ付
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右之通被仰渡奉畏候
仍而此段御請申上候以上
相勤可申候
松平伊豆守様
御内
山口弥一郎
松平伊豆守様
御内
稲垣源之進

右同断

一 無中ニ有之候共不申出候
　　但無中ニ有之候共不申出候
　　ニ付

一 卯刻ニ往来書物改ニ付
　　無中ニ有之候共不申出候
　　御仏事之間

一 卯刻ニ往来書物改ニ付
　　無中ニ有之候共不申出候
　　御用ニ付

十二日 牧晴 無中平服

御用ニ付
御出
御免
御用人
稲垣源之進

但 寛毋方叔母方同姉松平伯耆守様
　 御家中同断
　 同苗同名
　 御用人
　 稲垣源之進

一十日未成合ニ而當日ハ御免ニ

一御屋敷ニ而武分
御吟後御持揃御書物被
十二日快晴

一例刻ニ出仕御書物被
中ニ

一ニ條御方ニ當日御祝儀
御用ニ而
京都へ

一御年寄衆　御同役
被仰渡之趣承屆候
一無中日ニ殘置候
ニ而明十六日出勤
仰出右ニ付御屆
申候

一出勤人數
御免之遊
御禮申上
一出勤人數
右ニ通申渡之

稲垣源之進

病気ニ付願之通
但奴御免
年寄宮師相勤可
申旨書指

一 休日

十六日晴強風

一 御用宿人後閉遣候様懸出小納戸名前

西澤林藏
名代 叶田良八

一 例刻出仕書物奉行伺候晴強風ニ付後刻出仕

十七日 曇四時後ゟ快晴強風

大蔵院権
法眼日守
頭巾ヲ着ス

右相勤候旨 御祖

荒木玄蕃

一 出郭奉行之

従昨夜来雨降
松本奉行之
不参

一

一 出郭奉行之

松本福之神

田畑法帳共出ス可
明十八日酒大敬ニ
出送り候筈ニ付其
御積

宮門村
堺井村

十八日晴

一例刻ニ江雲館ニ
御同人例ニ通

右之通ニ付 御出張之
心用可有之

麻田人之所業

一右之通出用人ニ
差仕候ニ付
御用可有之

古田多仲

一右日傘向ニ而
御用ニ而
御出之節
御用可有之

小頭不
在ニ付
町年寄仕

一右ニ付御出張之者共ニ
御弁当ニ而
御出張之筈

出張を命ぜられ候事

百七月　　同　廣岸村　　戸長　右馬

出張を命ぜられ候事

同　小澤村　　百姓　喜惣

名代　前田村　　同　清

百七月

出張を命ぜられ候事

一　今般　御改正ニ付　御用向取扱方　諸入費之儀

之儀ニ付　御達之趣ニ付　村方ニ於テ取調之上

取調ニ付　遠路ニ付　日数　拾日ニ限リ

出張を命ぜられ候事

一　今般　御改正ニ付　御用向取扱方　諸入費之儀

之儀ニ付　御達之趣ニ付　村方ニ於テ取調之上

取調ニ付　遠路ニ付　日数　拾日ニ限リ

百七月

一　出用人足

[illegible]通ヲ配附候ニ付テハ
勿論ノ儀ト
御承知ノ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十九日

一例刻出仕諸侯之列
一御同之例之通
一右之通被仰付候
御服御帯御太刀御馬
御役者御届御断
右之通堅可相守候
右御掟書之趣
七月十九日
出同断
右之通被仰付候
同白清蔵

一右之通於二之丸御広間人々
中雨須所属

一右之通被仰渡候間人々
中雨須所属

一右之通被仰渡候間人々
右同人

一右之通相違無之候ハヽ依而如件

中西次郎兵衛殿

組頭　源兵衛

同断　源七

同断　源之丞

組頭　源兵衛

同断　源七

同断　源之丞

組頭　源兵衛

同断　源七

同断　源之丞

一歌左衛門

療養仕御願書御用人ニ差出
猶追而右仕度名願書御用人ニ差出

町奉行　山邨奉行

當年
御初入ニ付乍恐秋繰
及困窮候
御心痛ニ遊ハ為當年着進ニ趣御仕方宜
お守當ニ事ニ何年ニ而も
郡中一同懐文ニ雖ニ可有ニ候ニ付
名ニ今般指別ニ以

思召ニ於
諸村社寺ニ而ハ七日ニ夜二日ニ内ニ御祈禱
仕候ニ付乍恐町ニ而も七日ニ夜二日ニ内ニ御祈禱
仕候ニ付此段申上候以上

御代官
御用人

寺社奉行

右御祈禱
仰付ニ候ニ付ニ而ハ
御祈禱仕候

右請祈禱記　仰付候間
御代参ヲ以勤向并清
浄ニ可被成候事

一此間村方義ニ付
右之通ヲ以清浄ニ
可被成候事

大石屋印

法用人印

今般厚次
恩石ニ於
諸村社ニ数成就
二夜三日之祈禱
仰付候間村
役人ヲ以清浄
可被成候事

右祈禱ニ付
諸事不浄
無之様
可被成候
尤当日
神主
社人
村役人
一統指揃
可被参候

貯置之事
七月

一例刻之仕譯書物改之時同役掛縣ヶ之
一御用又例之通
一雪之分降水清屋通
御出著之節ハ御玄関ニ而
ヒラヲ之
但御
御玄関ニ而後伺掛縣ヶ
ヒラヲ之

廿一日

一例刻之仕譯書物改之時同役掛縣ヶ之
一御用又例之通
一雪之分降水清屋通
御出著之節ハ御玄関ニ而後伺掛縣ヶ
ヒラヲ之
但御
御玄関ニ而後伺掛縣ヶ
ヒラヲ之

當秋出收納之
御年貢
右之通御勘定所江
差出候
一出役人足
右之通御勘定所江
差出候
右乱心ニ付
御役御免
西澤林藏
名代
砂治勝助

當秋出收納之
御年貢
右之通御勘定所江
差出候
一出役人足
右之通御勘定所江
差出候
右乱心ニ付
御役御免
西澤林藏
名代
砂治勝助

一同断

一御領分中へ通り之配候事

一家督

但亡父之跡式相続

之者へ通

高ニ応し出米通

大納戸ニ而傳之通

一御領分中へ通り之配候事

一御用之儀ニ付

一例刻之仕置等被仰渡

一同断

一家督

但亡父之跡式相続

之者へ通

高ニ応し出米通

大納戸ニ而傳之通

廿二日雨昼前ゟ晴

三田十郎左衛門

旧坊主

名代

役右

旧坊主

宗收

一出家之事

但亲類縁者ニ而も

出家ニ成候ハヽ

一同断

[illegible]
和間ニ[illegible]
更金数作共種村ニ[illegible]
医師古川元良ニ[illegible]
医学右等向[illegible]
預書案件願[illegible]

[illegible]

右和屋長[illegible]
[illegible]

右等當[illegible]
則ニ右[illegible]
一太郎ニ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

右相触候也　御雇

何之通ニ
仰付候者
御免被

右之通ニ　仰出候間於二ヶ所ニ之間ニ渡候ニ而人合
ニ而　御雇
但用代教遣
一　右之通出来候ニ付ては

一　宿ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

中両次郎馬

一　右之通ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

沙書物役ニ

一　右次第ニ付ては
次第

一　宿ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

一　右之通ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

沙通帳面ニ

一　右次第ニ付ては
次第

一　宿ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

一　右之通ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

沙通帳面ニ

一　右次第ニ付ては
次第

一　宿ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

一　右之通ニ　御代参ニ而
被遣人若急ニ参候人相済
次第

沙通帳面ニ

一　右次第ニ付ては
次第

一 本通 此例此者人名之下
同 注有之時ハ
一 此用人之
仰せ渡
御屋敷恩義之儀ニ付
御加増之御沙汰ニ
御座候ニ付而ハ
御家中之者共
御加増之儀ハ
御断申上候

今日須臾於二百
[illegible]
[illegible]
[illegible]

但馬國
同社[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

寶相院様
御同日ニ付
宗旨寺ニ

右 御代官江 御出宅當ル
御佛前ニ而遊ハス 御帰被遊右ニ付
御帰後何連絡ニ而も御出ニ不及
一 名前書ニ而も
口上ニ而も可申聞事

荒床安喬

池口中務

堀田善次

一 本通此間ニ付其ノ筋江
御触

覚之川口様ニ而御教生ニ而義ニ付第ニ
無之ニ付ニ而ニ而有之ニ付ニ而
義ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而

七月廿四日

此間中

御白洲

一 本通此間ニ付ニ而

當時幷招
出仕人の
出仕者者
但御
右二付出仕者
御免

一左之通出間付ニ而
出度間ニ付
左之
書ニ

四書ニ
左之書ニ
六書ニ書記

一左之通被
設詰勤ニ被
御被
四ニ而世
但書来ニ

一左之通被
御出ニ付
御出ニ付
大奥院様

囲ニ而
谷地左馬允
上京六十郎

囲ニ而
谷地左馬允
上京六十郎

谷地左馬
神谷七郎

桜井一太郎

一 沸騰 八月晦日

御覚之書 信恭院様 御忌月 九月晦日

一 明廿日より御忌中 御出勤被遊候旨 御覚之書 御出勤被遊候旨

御出勤之節 御供人下座同列同様之事

一 町奉行

書院番頭 御目見以上 御小納戸 御小姓 御側衆 御用御取次 御側御用人 御用御取次見習 御用御取次格 御小姓組番頭 御小納戸頭取 御留守居 御目付 御勘定奉行 御勘定吟味役 御普請奉行 御作事奉行 御小普請奉行 御作事奉行 御普請奉行 御勘定吟味役 御勘定奉行 御目付 御留守居 御小納戸頭取 御小姓組番頭 御小納戸 御小姓 御側衆 御用御取次見習 御用御取次格 御側御用人 御用御取次 書院番頭 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

一 御三家 御出門之節 御玄関前ニ而 御下乗 御供之節 御玄関前ニ而 御下乗

御出門後御供揃ニ而 御玄関前ニ而 御下乗 右ニ同

但御出門 御帰之節 御玄関前ニ而 御下乗 御供揃ニ而 御玄関前ニ而 御下乗 右ニ同

御出門後御供揃ニ而 御玄関前ニ而 御下乗 右ニ同

一 例刻出仕

祖母俗名 乳人 世話役 雑人 新参 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

但御目見以下 御徒 御小人 御中間 御台所人 御賄方 御広敷添番 御広敷用人 御広敷番之者 御錠口 御次 御右筆 御坊主 御医師 御儒者 御絵師 御表使 御中臈 御年寄 御客会釈 御客応対 御客 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

一 例刻出仕

祖母俗名 乳人 世話役 雑人 新参 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

但御目見以下 御徒 御小人 御中間 御台所人 御賄方 御広敷添番 御広敷用人 御広敷番之者 御錠口 御次 御右筆 御坊主 御医師 御儒者 御絵師 御表使 御中臈 御年寄 御客会釈 御客応対 御客 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

一 例刻出仕

祖母俗名 乳人 世話役 雑人 新参 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

但御目見以下 御徒 御小人 御中間 御台所人 御賄方 御広敷添番 御広敷用人 御広敷番之者 御錠口 御次 御右筆 御坊主 御医師 御儒者 御絵師 御表使 御中臈 御年寄 御客会釈 御客応対 御客 御目見以上 御目見以下 寄合肝煎 寄合 高四千石以上

一出用人共

左之通被仰渡候事

御免

出勤之節傳奏

屋敷之通

出禁請奉行

屋敷玄関

出勘定吟味役

屋敷玄関

出料理人乗掛

屋敷之通

一出用人共

左之通被仰渡候事

山本大助

伝田九左衛門

田安家来之儀

川上左太夫

一右之面々宛ニ被仰渡候ハ、其旨可申渡候事

一出用人共

左之通被仰渡候事

井上大左衛門

出家来一人

御免

出御用部屋

御免

多田武指丈ヶ

一左之通勤定奉行

出屋敷勤之節

御免

多田傳兵衛

水出孝平

川淵千左衛門

一右之通出脇差小預ケ
出脇差小預ケ
小預ケ
右同断

一町奉行所

人数之内出役通弁
訳頼ニ合申筈ニ
相成居申候ニ付此段人名書上候通

小人町
戸右衛門

一出役奉行所

御用ニ付人寄持人
御出役ニ付此段人名書上候通今日

之用村
作之右衛門
同村
八拾七軒
同人女房
同村
八拾六軒
母親
待役村
八拾六軒
神右衛門
同村
八拾七軒
物之助
同村
八拾六軒
母親
三右衛門

寄持人
奥小姓村

一出那東行至

右之通川旧於海岸下波至

新六　母親　八指之第
旧村　久三郎　母親　八指之第
旧村　與七　母親　八指七第

一寺社東行至

右之内八日御祭之通
秋末楼観神事執行候

吉祥寺

右ニ而入宇
有之候名前
村役人始村
旧邸寺ニ代
御逗留之節
御境内ニ而
御逗留之節

養父郡
小田村
勘十郎
乃三郎

廿六日 晴

一例刻出仕小納戸共御用人例之通

一御用人例之通

一 一昨日被改箱漆 蒔絵師
　 被仰付候ニ付 堀田利喜
　 右漆中渡

一右之通吏ト申渡候ニ付同刻出仕

當御所様御物揃御出之節
御供御用掛

出仕之頃
出用刻
出仕書

廿七日

一御刻出仕小納戸共御用人例之通

一出用人例之通

右之通吏ト申渡候ニ付

出橋方研師
出屋敷
御守出屋敷詰人扶持
御口
御免

一同断

右之通吏ト申渡候ニ付 御守出屋敷詰人扶持之内
御免

田沼玄丁
當三郎

山次祐吉殿人智
契約

鵜宮方之傳
契約

山權介改
契約

一

右畢并町立大字
字改却證券壹通

一

右之内字堀相續者
後刻之申請

一

右之内字堀減者
後刻之申請

左肩之内朝鮮
壹人同道

石田

波多機藏
七月廿日
小出
桜井良藏
二男之部

関口喜藏
亀井政雪
桃松右支

一

右之通三ヶ日於ヶ申請用人印申請

二

寺社奉行

一寺社奉行

当年二月二御領御領右同断

一寺社奉行

[illegible]

一福成寺徳[illegible]

[illegible]

寺社奉行

天保八年

丁酉七月日

福成寺

兼帯

大念寺

代参

福寺

寺社

御奉行

一今般福成寺徳[illegible]

[illegible]

雅書仕者ニ寺社
天保八年
丁酉七月日

福成寺
兼帯
大国寺
代下
福寺下

寺社
御奉行

右記書之通ニ而ハ徳蔵寺ニ而ハ寺社
之取扱ニ当分寺社ニ而之届書ニ而ハ
届書ニ通届書ニ而ハ寺社ニ而之届書ニ

一此段申上候

以上

七郷
田方郡村

右田舶出之分順風ニ付
出船致候ニ付此段申上候
以上

七月九日

今日ニ付御船ニ而之通觸ニ而ハ用人ニ
出船用人名相伺之
御船ニ而之通ニ付御届申上候

縁起

御用之儀有之候間今七時
指宅召連早々御出頭可有之候
但病気其外差支之節ハ代参差遣書状
到来之事

右同断

帰り掛
立寄

亀井様御家来
牧野源次郎殿
御父
谷野権左衛門殿
同姓
亀井主八
御父
三山宅庵
右御用人
牧野源次郎
御父

右之通御用人口達候間可有伝達候
尤本書到着次第御用向書面可差出
且又御用人一柳直躬宅迄可有伝達
候事

右田多仲

右之通御用人口達候間可有伝達候
尤本書到着次第御用向書面可差出
且又御用人一柳直躬宅迄可有伝達
候事

右田多仲

定例御参府御道中之儀ハ兼而
為御心得御触有之候ニ付
御参府御供之面々
御触書之趣急度相守可申候
若心得違之儀有之候ハヽ
御咎可被仰付候

御免状百姓代
御名主
一右之外親類共ニ入来候節
何之通
二日間逗留
同姓
名田庄屋
不及伺
大叔父
筆問森内
添書遣
稲垣源之進
小出右次衛
黄昏集ニ
名居勤物
一右之通出用人共ニ申渡候外組頭
用無
通路
小出右次衛
御供泊次第
吹八日曇
一例刻ニ小出小舟戸ニ着
御供ニ而御上陸
出用部屋ニ
南禅寺ニ
一右之通出用人書付
小出小性頭
出用人

一例刻書紅小納戸共御手傳之

一出開人足

書成積雪有
城傍邪澤居村
不至醫師中間之輔有
為療養世幸宅
扱子源朱路通
日積云邪遠通

一出小姓領之

大草右助領之
表文邪関文村
若無之為
扱子源朱二三宿通

長谷川寛

杉立城成

世幸宅ニ而
扱候而
名々書付
松平伯耆守殿
使番
御先手鉄炮
弓組
御書院小納戸共
御手傳
但惣名ニ而
御手傳之
分別紙之通
仰渡

右日限
御掃除
之儀
仰渡之
通

長谷川寛

杉立城成

但免許之節別紙一通之
御觸

一同人支配

一小姓頭支配

大草右馬允領分武州
浪山并村ニ在之義
御朱印高ニ
御加増之節方ニ為替
松平宮内少輔江
預ケ通ニ
御免之節別紙一通ニ
但免許之節別紙一通之

長谷川兵守

死去仕候節之
御触

一同人支配

一小姓頭支配

長谷川兵守

一例刻書領収之
御朱印ハ例之通

一同人例之通

書院番
御目付
御寺社

一明日晴

一例刻書領収之
御朱印ハ例之通

一同人例之通

右之通相触候ニ付
御触

一明日小姓組弐番出勤之面々
御目付江申触候

一小用人支配

出石藩

御用部屋日記

天保 八 年 八 月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

日記 八月 廿一日彼岸入

出石藩家老宮本玄蕃

大清

嘉慶肆年

板橋藝集

西山書屋

二月

七月晦

一 [illegible]

一 今村新法小川町南茅場町 吉田多仲

[illegible] 吉田多仲

一 [illegible] 作事奉行 [illegible]

一 [illegible] 吉田多仲

一 [illegible] 吉田喜定

一 [illegible] 作事奉行 [illegible]

一 [illegible] 右同人

一 [illegible] 右同人

一 [illegible] 八月 晦

一 [illegible]

十九

一　札場之下

右之通決

一　松場之下面之通　許可

一　此場之立間金

七度松猪沢年々
御代官ニ而御改

一　右之場ニ而ハ
伐木ニ而ハ
無之候

一　此場之立

例年之通ニ而
候事

一　此場之内ニ而
年々二百三十
間之通
御定

十八日 晴

一 朝刻出棺ニ付送状別書有之候
一 沖田之向通
一 出棺之事

午之一日 検見ニ付遠仕候

十九日 晴

一 朝刻出棺ニ付送状別書有之候
一 沖田之向通
一 出棺之事

午之一日 検見ニ付遠仕候

十九日 晴

一 朝刻出棺ニ付送状別書有之候
一 沖田之向通
一 出棺之事

午之一日 検見ニ付遠仕候

十九日 晴

一 朝刻出棺ニ付送状別書有之候
一 沖田之向通
一 出棺之事

午之一日 検見ニ付遠仕候

一

右法花経ハ仏滅後二千二百余年ニ
仏意ヲ人ノ知ラザル所ヲ
一切衆生ノ
善根ヲ開キ悪業ヲ
滅シ給フ
一右ノ
訳ハ仏滅後ニ
漢人ノ
翻訳ニ
依ル故ニ
一切衆生ノ
善根ヲ開キ悪業ヲ
滅シ給フ
仏意ヲ人ノ知ラザル所ヲ
右法花経ハ仏滅後二千二百余年ニ

一

十七字 脱字
衍字

一例ノ如ク
一切衆生ノ
善根ヲ開キ悪業ヲ
滅シ給フ
仏意ヲ人ノ知ラザル所ヲ

大意院
法号
経王寺

右 許可ノ
仰ノ如シ

一法花経ハ
右ノ
仰ノ如シ

右同人

一今日決裁左之通

一許可年度　許可人江　住所年

一検査前渡仕度

但検査前渡仕度金壱千円以内書

右者今般検査ニ付渡仕度許可書

相添申請候間

此段申出候也

年　月　日

住所

氏名

右之通

許可候間

一右従九位相当

廿三日　晴

一例刻本社梁棟上
一諸願之例之通

右相勤申上

一本堂屋根
　葺替申度
　但王寺ヨリ

一吹貫幷破風
　懸魚共

一梁繼之事

一棟札之事

右之通相勤申度
　尤棟札之儀
　先例之通
　認可申事

一前後簾之事

和田三良右衛門殿

　　土佐掾

　　吉野伊勢

　　清水伊賀

　　岡田清左

一家 三份毛氈
一 糸毛氈
一竹田 三份毛氈
一 糸毛氈
一大田 三份毛氈
一 糸毛氈
一中家 三份毛氈
一 糸毛氈
一長 三份毛氈
一 糸毛氈

右八件平価 代金弐拾円

三份毛氈 代金弐拾円

注文通

三份毛氈 代金弐拾円

仕入金平均之価

右通差出申候

以上

四月八日

注文通御買上被下候ハヽ
御届先迄御送可被下候

右通知候也

十月廿日　伊達兵部少輔

松平左京亮殿

十月廿日　伊達兵部少輔

長谷川越後守殿

十月廿日　伊達兵部少輔

堀監物殿

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

十月廿日　伊達兵部少輔

平林次郎

出石藩

御用部屋日記

天保 八年 九月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

御城日記

九月小

酒匂清篤

清年号
清勝自号當人
清小姓領
而国人
而拘領
而邪吉行
可吉行
而為定行
而統士領
而邪国分
而書清吉行
而於元ノ
免定領

洞白清落
稿頃深之属
渡辺吉属
増田長物
付四部属
系敏部
杉系深吉属
松井宝受
二長物物
弓制号属
野領定清

大清

増田長物

勝部吉属
岩清勤属

喧嘩論場

一例刻出仕小納戸高日清次俸何程
御足米御加増高百俵
御用部屋江参
一
一定書出之
一出勤退勤之節
一出府留守之
一御用之人例之通
一病気届之節
神妙出仕届之節
出例出勤人数之通
御代参
一年九八日九日病気届之節
御代参兼勤方之節

神奈

但所可差出候
御代条兵粮方
書状之事

一　御触
兵粮方書状之通ニ
御代官ゟ郡方之御役人ゟ組合村ゟ
五人ツゝ通ゟ達候

町奉行所
（印）
西山平蔵

一　左之通被仰渡候間
此段御領分中洩無
可被申渡候

此小船頭
此用人

一　書翰之通
諸国大風神
社祭礼之節
九月八日

一　右之通被仰渡候間
此段御領分中洩無
可被申渡候

此書翰役
此代官
此郡奉行
此勘定奉行
此普請奉行
此寺社奉行
此郡奉行

一神樂乘請人數
御出ご席所ニ

乘殿部
雨山平藏
出張士同役ニ
出張士者
小頭弐人
出足輕
町同心小頭
町同心

一神樂　御出ご席ニ奏請人

荒木玄蕃
酒白清左衛
出小性頭
出用人
出郡吉祥
出勘定吉祥
出同役ニ人
出醫師吉祥

右ニ而ハ乘請名ニ不及事ニ

一於法隆寺御寺領馬什之御覚人

一雄剱　一振

一龍蔚　一匹

混布布

御代参

宮本壱番

一南蔭寺作

御代参

今春院振

一混壱布

御代参

今春院振

一混壱布

御代参

御代参

御服振

一混壱布

御代参

万亀姫振

一混壱布

御代参

御代参

一人百疋

法隆寺

一人百疋

南蔭寺料

一人百疋

御神楽

右之通被仰渡候事

一柳直盛

蜂屋頼隆

渡辺吉鷹

一作久間安重

蒲生源左衛門尉

蒲生井賢明

大谷隠岐

神子田

同人

一　出仕之同役衆寄合之者江茂無之事

一　東海寺へ之通路之事

同九日

一　神輿渡東海寺江入御仕

御通出仕之同役衆江茂無之事

一　役人共ゟ町方江通之事

一　警固役并供之士ゟ之人数寄合江茂無之事

同九月

八日

九日　右両日

一　之通　御供之役人江賞

神輿渡御町方江茂無之事

惣而之事

一　浄小姓頭ゟ之賄物小使頭ゟ下迄之事

一　其外浄役人并小役人供之者共江賄

頭ゟ不出之事

一　浄小姓頭ゟ之賄物小使頭ゟ下迄之事

一　刀剣銘請之組
　中度合預書置
　　但本家降當用人共預

一　郡奉行之
　當月中之方寄有之
　宮門村一ヶ所
　弘原中村伝福寺之十二日

一　当用人之

　信田勝左衛
　西川源兵

一　当用人之

　本之通預書置
　　加添
　　同扣

一　当用人之

　本之通預書置當月積之分之通
　同人印下候

年寄之部
御屋敷奉之市江御寄宮之
寄之市加添不寄宮之
　　伊勢守寄
　　何之守

中村龍左衛

一町奉行ヨリ

出来中候
南門渡今朝
一 津波高く成候
通し 高き
出来申候

一明後二日養父市場に当候
出役人左之通
御廻

引請役

二日快晴

一例刻出仕小納戸
今朝御膳
今之名ヲ

上納日ヲ
御定例之
伯母和田之馬
井溝之
両国玄棟養女病
病面会ニ
但先名ヲ

一左之通
御用人
御家老

荒木玄蕃

右同人

谷甘右馬允

一 少生　御種

諸向ニ而右類
御領主ニ而之人別ニ
御對面所ニ而
和之ものニ而ハ
但御座敷
下事

右同断

右ニ付　御對面所ニ而通用門ニ而
町方ニ而者ニ而
出役人ニ而
出役人ニ而

右之通ニ付　御領主ニ而
逃ニ而下役ニ

一 御家中

生魚

右ニ而
御屋敷ニ而
寺持ニ而

一 右ニ付

下役

一 明日ニ

下役

御勤所

御勘定所

御勘定所

御勘定

御殿佛日ニ仕度旨
以 御書面ニ申越候ニ付
一 右之通出間有之候ニ付
世帯相別ニ一統難渋ニ付有之候ニ付
右之通ニ候ニ付
九月二日
出間有中
御白洲
一 御同寄人ニ候ハヽ
三日 牧場
一 御同寄人候得共
一 明四日之寄合
御佛前ニ相勤候
宗淡寺
西順和尚
一 御佛前ニ
御對面所ニ
中之通ニ有之候ニ付
右之通 御佛前ニ

[illegible]
奉行[illegible]

一 右之通申渡候間 [illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

八月十六日

一同　右之者共重而出間牙鍋弁ニ
右服者稱出病ニ而知出ニ不及候段申遣候ニ付
重而病出届ニ而ハ無之候間出勤可致旨
申遣候

右之通申聞候

八月十七日　仙石主計

一同十九日　右之通於市用部屋申渡候ニ付受取書
出ス
一同日　右之通出勤人名下知

神谷七兵衛
親類共ニ

右申渡候ニ付受取書出ス

一同　右之通申渡候ニ付受取書出ス

神谷七兵衛
親類共ニ

七兵衛父将監事友秋儀出奔致候ニ付捕方取計
申候ニ付意趣有之哉ニ付尋候処
思召有之候ニ付捕方取計候旨申聞候
但御領分ニ而ハ無之候事
御領分ニ而ハ無之候ニ付
御沙汰ニ及ハ

右之通書入印形之事

八月

一右之通書入印形之事

八月

神谷将監

松田大学

指引

思召

御用

御沙汰

雅楽

神谷将監

松田大学

指引

思召

御用

御沙汰

雅楽

八月十九日

御請書

神谷将監

小川大助

拙宅

御用

御沙汰

雅楽

御請書

神谷将監

小川大助

拙宅

御用

御沙汰

雅楽

八月十九日

小川大助

神谷将監

松田大学

右宛

一 同日 [illegible]

同大二日

一 [illegible]

右之通相違無之候ニ付奥印人[illegible]

奥田俊吏

平尾七寿

白井清十郎

一 八月廿七日 [illegible]

右之通相違無之候ニ付奥印人[illegible]

小川文衛

巨海政之助

別紙

一 金七拾石

右之通預書付之趣ニ相違無之候ニ付奥印人[illegible]

巨海政之助

一 大時ニ出仕小納戸ニ詰ル

四日 快晴

一 西関和尚弘法ノ事ニ付小姓頭ノ下僧ニ[illegible]

一 實圓院権
律師ニ付
當寺ヘ

右相勤ル付ては　御出宅
一 其時　御出宅
信恭院権律師ニ付
天真院権律師ニ付
御佛前ニ於テ
御同見例之通　御出宅
御帰後律師小納戸ニ銀子
御代香相勤ル付
御出宅
信恭院権律師ニ付
大奥院権律師ニ付
本文之通　御佛前ニ於テ
相勤事

但　天真院権　御
　　信恭院権　御代香相勤ル付
　　大奥院権　御
　　本文之通　御佛前ニ於テ
　　相勤事

一 玄庫権律師居宅ヘ
律師ニ付
當寺ヘ

一 出入之者
一 出入
一 出入之者
一 出入之者

御代香
荒木玄蕃

一宗旨寺正順和尚　御入院之節
当寺百姓共惣代
役人不残

右本書院二而御渡之
御書付之通
一寺社奉行所及掛合
候年寄共一同
御呼出之節
本書院ニ而御渡之
御書付之通
一本書院ニ而御渡之
御書付ニ相添
御届書一件
御用状
御用状
御届之
一候年寄共
但
御書院ニ而
御渡之節
御請書
御渡之節
一候年寄共ニ而
御用状
御届之

寺社奉行所或屋敷中ニ度々出来候ハヽ

一出用人ハ

奉行ニ通達 御用ニ付出役ニ及候ハヽ

勘定奉行ニ申渡候ハヽ

御勘定ニ付出役ニ及候ハヽ

寺社奉行ニ申渡候事

中村築左衛門

水出八ニ冊

一勝手掛之列役ニ

吉原君御掟御遊女ニ抱候節

但 文化十三子年四月廿二日

琴浦君御掟御遊女ニ抱候節

出役ニ付御届之儀ハ

寺社奉行ニ申渡候事

一出用人ハ

奉行ニ通達次第

出役之上

同様之手続ニ抱

一出郡奉行ハ

右ニ付出役ニ及候ハヽ

勘定奉行ニ

出役ニ付御届

右廣嶋稲荷前一ケ所出張旅宿之儀ハ

来ル二月中相済候様

一右ニ付出役之儀ハ

勘定奉行ニ

一 宝和寺領
　　業入会之儀

右今日当領和尚寺
可申寄合申談者向之通
申談候 御領

寺社奉行
原敏甫

　　領談者
　　寄合

右乃至領之通 以
申談候 御領

今治寺家
二名
河野法泉院

作法之儀申談候 御領

一 例刻出仕小納戸之儀
　　御用見例之通

二日 快晴

右例年之通出勤之上
石建申刻退出候 御届

出仕小納戸
朝右衛門

一 痛気ニ付当分代勤
　　願之儀

堀口孫左衛門

父母危篤ニ付
私儀急ニ帰省
大庫平村ニ至
一泊之上翌日
皆逓為仕度
此段御断
申上候

井上源介

一明六日当時津治病ニ付
御休被下候
御佛参詣
申上候

井上源介

一本通出開人共
明日
御城下へ罷
出候間
御休被下候

湯浅友八

一本家
御城下へ罷
出候ニ付
御休被下候

一本家
御城下へ罷
出候ニ付
御休被下候

一本家
御城下へ罷
出候ニ付
御休被下候

御城中之名称
作分之事
但御帳面両之内之名称
〻事
九月 日

右御注書院
御用人江 作分ニ
一出用人之

右ニ而出之名前相違無之
但例年之通江戸ニ而之
御入用ニ而ニ有之ニ付
一出掛頭指用前明之
之通江 作分
一出用人之
之通江戸ニ而之
御入用ニ而ニ有之ニ付
一出用人之
之通江戸ニ而之
御入用ニ而ニ有之ニ付

出山権介
勘右衛門

右同人

一町壱反七

[illegible]

但右出陳者代官ニ而取計

中村小源治

右ハ下役

一 久兵衛代友吉願ニ付通行之節

為代友吉進物

右ハ下役ニ而進物

一 右ハ下役ニ而進物

下役ニ而取計

一 [illegible]

右ハ下役ニ而進物

下役

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七日　快晴

一例刻吉江小納戸差出候何書様ノ事

一昨日ノ分薬室ニ而差出候何書様ノ事

荒井玄蕃　御能

一昨日又是ヲ

眼病ニ付井上源介

他ノ薬預薬ノ方ニ配剤ノ事

一昨日ノ分月代

預薬右同断

菊池安庵

薬入ノ事

右屋根鍋一ツ半ノ分ノ事

ふた一ツ限ノ事　入菊池

小屋　御能ノ事　出用人

一明日ノ御能ニ書出候ニ付用人共ノ事

出用ノ分右ノ通ノ事

一明日ノ御能ニ書出候ニ付用人共ノ事

出用ノ分右ノ通ノ事

梁田孫蔵

小山茂門

一町奉行ノ事

一御通行ニ付御能ノ事

松親類丹波屋新六ノ通ノ分

丹波屋又蔵

一 肥後

右之者十二日之夜御対面所
御覧之上 御生害被仰付候
一 右之者當用人石黒伊兵衛方へ
出入之
一 右之通十波ゟ申来候ニ付
申上候

武蔵組ゟ
寺嶋組ゟ組替
加役同前

大澤筑後守
大久保右京亮

原新七郎

一 九ツ半時 御生害
御生害被 仰渡候節
出入之者共
一 久世広宣代
代官ゟ中村源蔵
ゟ相勤重而御用
被

加役同前

一 久世広宣代 和田忠三郎
代官ゟ中村源蔵ゟ相勤重而御用

出進扣

出菓子一折

和田重馬扶

清重

秋冷之節御堅固御座被遊
奉恐悦候扨今般出開合通行御
免被為入候条御使者出向御通
御休憩被遊清酒御菓子
宜申入度申

出入町 名前

八日 雨寒暖計今晴

一 小附柿一串

一 小附生仁出小納戸 清神妻清左衛門縁
一 御子柿方ニ而松波迎長屋ニ
一 神妻清左衛門ニ而渡辺内匠殿
一 御祖父之清年寄共ニ而出候人共妻清左衛門

神樂通御下命年相同有之候
但官名相同有之候通
御代参相勤
殿様
奥巻院様
守姫様
台所様
節姫様

（清華家）荒木玄蕃
（清用人）一柳図理
同　稲垣源之進
同　伴久間四郎兵衛
同　吉井喜和

大宮院
神子
（修験兼帯）智教院
理性院

此神事ニ清浄ニ而ハ不相成候ニ付
当社支配ニ而ハ
此判書ハ当社支配ニ而ハ
御神事ニ清浄ニ而ハ不相成候ニ付
当社支配ニ而ハ
同断ニ付ハ
此御祓之料ハ当社支配ニ而ハ
御神事ニ清浄ニ而ハ不相成候ニ付
当社支配ニ而ハ
清判書同断ニ付ハ

一明日ヨリ出勤ス事
寺社奉行出同行ス
一出勤ス漆ニ付出例ノ用人ヲ出ス事
一出同行ス
神藥出ル〻ヨリ先ニ同行出ル
御藥被御拭漆
一出同行ス

九日晴

一今朝出ル小納戸ヲ以テ
出被成御請旨ヲ
御手紙ヲ以テ右同様被遊
神藥事
主陽出勤中ヲ
出小姓頭
出用人
一於
御座ノ間
御同人ヘ御暇ノ
神藥御被拭漆

御種御つぎ者ニ　御出之事
但　酒年号之年
但右之通ニ而
御門者ニ
沖墨酒被出候間
其段人々御つぎ
通御心得之事

一御桟浦ニ　御出之事
御揮毫有之
縁ニ一字ヲ加ル
但高年ニ而
御門者ニ
沖墨酒被出候間
其段人々御つぎ
通御心得之事

一神ノ掛　御賢人相添　御対面ニ而
入ル事
但高年ニ而
酒年号之
御同人ニ而
事

一酒被人々酒被給候節
御同人ニ而
事

一御祓　御初尾之儀ハ御意次第ニ付
一神輿洗清祓相勤候節ハ
神輿洗清方社司
立会候事
一御祓　御意之儀ハ
御初尾　御意次第ニ付
一御入記年ニ付同序ニ洗清用意仕候
於洗用意仕候例出用人共洗清之事
一出同前之事
一御入記年ニ付同序ニ洗清用意仕候
於洗用意仕候例出用人共洗清之事
一出同前之事
一出郡之儀ハ
一出郡之儀ハ
一出同前之事
神輿洗清ニ出候士同前出候士之者共
御初尾入相當候ニ付洗清之事
一洗清式之節洗清相濟候ニ付出用人共ハ
出候例之通ニ候
一明十日御勧之由被仰候ニ付例出用人共

御用相勤候ニ付
御扶持
一出用人共
右渡ス
一出用人共
右之通出勤清助新介渡ス
出勤人数
内訳
出勤人
奥坊主
新抱
一出例出用人共
右渡十一日相用達
渡ス
一出役共
小出檢物奥方
雲華一籠ニ運ス
一例刻出勤小納戸共
一清助ニ山椒
御用人ニ付本書院
御出前清浦居前南ノ方廊下

十日 曇

唐維陽之妻
御生日遊市之時
御意屬目有出羊者
羊忽二雙同至有出利人出腦囊於滿
衣而入
御出命追問始得其人大小悉
如所見
御出命捕之
御對面所問皆驗
收設人先今日引羊後至
御驗
一有人通出問有出
銃藝門出問出又有出
御覽并又有出
楊子出有出
海之用之旨
御命追問出
御出獨又云二月發云
御出命捕滿有出
滿之有出
敕文出遠之
九月十日

一

以同年十月廿日向寺為加判衆之

寺書

（加賀守護代ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

（加賀守護ノ法名カ）

一 日及何

一 第二度之後
第八名裁

右左ニ名小川英二郎
當邊設ケ有

右之通日高之渡名
主 御種之支ニ及居候

一 出役人名出用人共荷物
有之候節ハ

仙臺領之内水原又七郎
出張同所

一 弓刺十文
右同人 一 宿一郎
右同所ニ有之候

一 例刻之定小納戸壱人
一 出側出用人共

右同道陽元ニ
於舩ニ渡ル事

十一日 風雨

本百十文

一 出役之節
當地中之人夫渡賃等之通
下諏訪ニ有之候間其
地ニ而

右同断

寛文九酉年
射術

一 右之通不苦所掛於 御対面所
御覧可被仰付旨ニ
而 作左衛門尉 作左衛門尉
寺社奉行衆

一 右檜中山ニ而寛永之頃
之成就
寺 真覚寺

一 右檜中山ニ而寛永之頃一族一同之逆
之成就
寺 作左衛門尉
寺社奉行衆

一 此十日ニ収納ニ付入江網石之事
信楽書留ニ

一 同人ゟ
今日山椒出候ニ付入合ニ而風炉先ニ通
ゟ之ゟ之ゟ之ゟ入合ニ而有之

十一日 下痰

一 出用ニ付ゟ
大橋ゟ水ニ而ゟ候ニ付同行ニ而ゟ
八ツ時ゟ中ゟ又七時前ニ戻ル
ゟ之候ニ付ゟ時間ニ水ニ而ゟ

十二日 大雨

一 例刻ゟ出ル小網戸ゟ

一 出用人ゟ

寒気ニ付ゟ
熱湯ゟ之ゟ
湯ニ而ゟ
日向村ゟ之ゟ郷之井之利ゟ
和田又ゟ

一 飽湖

太田ゟ之帰
門ゟ

右ニ付十二日 御ゟ賢ゟ

一 明今両名義ハ第九十六番ニ相掛
ル云々 御渡人名前 御渡之節名前ニ
一 江戸表ニ而出役之節ハ人馬賃銀ハ
御渡
但例年ハ二
一 出用人足
ハ 七
明組
云々
西山渡ル組

一 例刻ニ江戸小舟町ニ着ク人馬
一 可申付事

十二日 雨

当月晦日前日
雪合前渡ス
入牢

当月晦日前日
雪合前渡ス
前渡

八丁堀
丹後屋
小兵衛

同町
山城屋
仙蔵

同町
平野屋
清三郎

悴清三郎儀当年
今般白石ニ而病死
仕候ニ付父清三郎
名前

同町
丹後屋 源兵衛 組合者
大工 良七
茂兵衛 代 七
宇兵衛 利三郎
番匠屋 忠兵衛
大工 次郎兵衛 落

同町
丹後屋 源兵衛 江戸落向 三軒之者
白銀屋 吉助 後家
升屋 利右衛門 後家
塚屋 新七

同横町

右之通昨十二日於評席申付候事

一右之通出用人申付候事

安政四年　巳十月　　御徒

右同人又ハ右為

閏幡屋　源次郎

出入用人

右之通於御下屋敷

中村飛驒

名代村田清次

出入用人

右之通於御下屋敷

中村如龍

出入頭取

大網戸傳之輔

出入頭取

小網戸為治

御免

出入頭取

小網戸傳之輔

御免

十四日

右之通支配願上候
以上

十四日

白杉藤介

一　金壱両弐分也　　出書清紀
　　出張人共扶持　　忠次郎

右之通出張御用ニ付前渡
候間当用ニ相立可申候
以上

十四日　御厩御役所

一　明十五日用次御馬壱疋出張御用ニ付前渡
候間当用ニ相立可申候
以上

十四日

一　出用人壱人
　　但向井御役所ニ
　　差出候ニ付当分雇書差

十四日

鳴村與藤

鳴村与藤次
御請印形ニ付当分
雇書出候ニ付当分
用務ニ相勤候ニ付渡
方ニ相成候事

一 休日御用覚候節 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 出勤願之
病死届
但跡引之年ニ有之候ハヽ逃ニ可有之

一 出用人之
佐伯山椒御用ニ付三日間留主宅厩又七疾人宿
出立同夜一ノ宮迄帰り候人今早朝同所出立ニ而
[illegible]
[illegible]
[illegible]

但當家年
一
右之外記言同席右之通申
七當り山椒魚目之儀
申談外書之
右ノ書文

一小姓頭支

母儀病氣ニ付
お婆ゟ雑之儀
有之候ハヽ
勿論相願
御書面之通
御申立ニ候ハヽ
御免

一小用人支

鳴村與藏
孫婿ニ付
御免之上ハ
白杉藤介

右願之通
御免
御申立ニ候ハヽ
御免

妻儀頭痛氣ニ付
娘ニ看病ニ
三日ゟ入湯ニ
御免

孫習ニ
病氣ニ付
右願ニ

右明十六日ゟ
御休

中澤源右衛門

鳴村與藏

白杉藤介

早川元藏

服部治藏

右田忠三郎
門外

御覧ニ入　仰出之趣雨天ニ付沙汰延引之義
次第帰国可申旨ニ付　仰出之趣申聞ル
仰出之向ニ而ハ沙汰
右ニ通出張奉行
一之社ニ於テ二夜二日ニ而両様沙汰済
沙利様料
銀壱枚
但沙代糸ニ而
沙用番
酒匂清蔵

右ハ今日鴻村興之宿娘預源小次ヘ
永組ニ付支配預ニ而沙汰
十波不届ニ付別座ニ沙用番
右ニ通十波ニ申
沙汰
右扣之度候
出向分高橋
山地勘右衛
旧舘
多田助之允

右同断十波ニ帰村
支配ニ而不届ニ付
帰国之義ニ付右ニ通及答

一　金三通宛差紙差下候事　御徒

出役方出用之内ニ而

御免之節十六日分之御賃

但書記之事ニ候

一　名和君助

江戸入之節

右今日書之通申渡候事

江戸入名和君助分

御徒

十六日　晴

一　例刻出仕小納戸詰候事

一　上納日ニ付

出勤定之席ニ

一　出用人之

一　出用人之

一　出用人之

出日ニ出仕納之節入出納之者ニ

申渡候書留之事

荒井左兵衛

永井八郎兵衛

河井甲蔵

左ノ通ヲ以テ御届申上候也

記

拾石弐人扶持
小役人未席
此用部屋

青山新作
同道
松葉屋寅蔵

一此勝手方ニ用人ヲ置
御対面所ニ詰候役不置ニ付諸書物勘定等ハ一切詰所勘定所ニ而ヲ以
多紀元ヲ請取候而ハ不都合ニ候間此段御届申上候也

一明十七日前栽掃除ヲ以
御佛前ヲ御掃除申ス筈ニ付
御届申上候也

十七日 晴

一例刻也法眼尼御房へ御使僧

一二月 御書完

大慈院柳沢御門主寺ヨリ

御佛前ニ御香奠 御使僧

御同門人例之通 御使僧

御帰後御連袖始ル 御通之

一此日京都増上寺ヨリ

又言前後叙又
永極甲斐之領當年
其中城清后乱之時
ト就今月右西舎之屋
皆逃而右往方前雑書之言

右主　御硯

射御

養母病ニ付
御覧ニ
沸処ニ
ト学ニ主ニ

右之通ニ

養母病ニ付暇願之儀有之ニ付
御医師之内出勤之者
ト学ニ主ニ

右之通ニ

西山平蔵

江戸出府

松本豊之助

作之間ニ
門番

御硯

高知勤定之儀
仰付候
御免被勤候
思召事

高知被勤定之儀
仰付候
御免被勤候
思召事

小林櫛苞

一

濱御

石井九郎三日之内
御對面不
御渡
可申候間其節
御硯

十八日 快晴

一例刻出仕常御殿ニ而 御小姓衆

和田主馬殿 堂前ニ而 池口中知

御帳御添状村口孫兵衛 大津屋七郎右衛門

二三宿通當御客人御座候ニ付 御名字

一 砲術 吉田忠三郎

門弟

右為 御使今日七ツ半時 大書院ニ

御出会被仰渡候間 同所ニ而 吉田忠三郎

罷出候処 御通之

御中食 御酒 御肴 御吸物 御菓子

御相伴 御国老

一 砲術教ニ為 御使之 同所ニ而 吉田忠三郎

罷出候処 御通之 御中食 御酒 御肴 御吸物 御菓子

御相伴 御国老

一 砲術教ニ為 御使之 同所ニ而 吉田忠三郎

罷出候処 御通之 御中食 御酒 御肴 御吸物 御菓子

御相伴 御国老

一 五ツ半時 大書院ニ 御出之 退出

御隠居様御年忌ニ付御中入ニ付
普門院門主
内弐人病気ニ付
二百八人
二百拾六
二百九拾八人
内弐人御年忌ニ付
●右同忌ニ御
中り弐百九拾人
内弐人病気ニ付
二百八人
二百拾六
二百九拾八人
内弐人御年忌ニ付
●右同忌ニ御
中り弐百九拾人

一、橋又本書院ニ　御隠居様御年忌ニ付御中入ニ付
同寄　御隠居様御年忌ニ付普門院
荻野流門主
弐百
内弐人
●右同忌ニ御
中り弐百九拾人

一、右之通御所望ニ付漆器御年忌ニ付御中入ニ付
御同人　御意有之候ニ付出開帳ニ付
▲右同忌ニ御

一 柏松屋文
奥信濃郡
一 弓射矢道
沿角一 楔山静大郎
○ 永倉次郎
● 岩波文已
○ 笘井源介

一 河合竜之助
○ 笘津七百石
一 西山政之郎
● 竹村留介
○ 笘井孝之亟
○ 土佐箏馬
一 笘井男也

右明十九日之未刻楯
籠之筈ニ而沿道
御役人衆

右田忠三郎

御出会 御剣術
ニ而 天明流青雲

一 当領夜間往来
之儀通ハ有之
間敷哉之事

久左衛門町数之内
成丈方ニ而ハ
御一泊ニ御留置
之事

一 同松楼越屋之
右同断
右同断

仲蔵

仲蔵

仲蔵

一出用人左

京都市内用向
お往復
五百石以下左馬

信田左衛門

十九日

一例刻出仕御戸左御詰被
仰付之

一御用之例之通

一当番之文官並
御系統諸役令有詰
御用部屋下座左御廊

雨山平馬

一出例出勤人左

毎日道次
御医師溜詰席之
組頭台お通有之

本間十之丞

入漏候段各埜書差出
仙石主計也家門家中
小姓乱心仕候
埜屋甲助儀漏
入漏相候段各埜書差出
主　御種々之御
埜和度之旨
以使者各申

右飛脚　御渡人甲斐
　　清左衛門
　　同甲斐
二宮一郎

右組之者共家内
　　埜和度之旨
　　以使者各申

右飛脚　御渡人甲斐
　　清左衛門
　　同甲斐
二宮一郎

右組之者共家内
　　埜和度之旨
　　以使者各申

右飛脚　御渡人甲斐
　　清左衛門
　　同甲斐
二宮一郎

右組之者共家内

北方設
出代友
平勘定
出立ノ
出勘定不傳
出張小頭
町同心頭
札場同勤
札場ノ
出張組

町同心
兼勘定不
小使
名主
大名屋
出用達
町名
小名屋
仁宿

右ハ御奉行様御出用之節、御札物等預リ

一小屋ヶ年
事
但渡札
一清人
一清人ヨリ
但ヶ度
一胡椒
但清国
一
但
一
但
一
一
一

御隠居公　御病気
御養生専ら御座候
明日御登城
御名代

砲術　　右ノ通　御代番相勤

御小性組　　本多豊後守

右之通　御賢慮ヲ以　大書院口之遊

御出座前ニ御手水之間ニ而御番頭ニ

被　仰渡　御通掛　御同人　御中庭ニ

御言有之ニ付御次之間ニ而相勤候処

此段　被　仰渡候ニ付一ト通リ御次

門番共同席ニ而一ト通リ相済　御中入後

再ビ同席ニ而一ト通リ相済

奥右筆院ニ詰

席之者一ト通リ

門番人数之指図

本数百三拾

中り百

廿七間

廿七間ニ九尺之矢来

▲右同断之者

御所望ニ付通リ相済　御同人

出向前ニ相詰之者一ト通リ

御用番ニ而御言渡之節

御同人　御言有之

小角

△ 修
十 弥井門屋
十 男
▲ 養
十 大友
十 小泉
十 折村権右

十 稲垣勝次郎
十 増田弓之丞
△ 留
十 原敬助
十 志井伝兵衛

素撓 右膏 据翰
當之 上指同 井深
指桂一筆落 而同
水原寛吏
山本治八郎
指桂而已郎

右同 表左吏

右同断 御渡之節 御意難有旨請印 御同人 伴右衛門

射掛 御渡之節 御意難有旨請印 御同人 伴右衛門

右未刻 御渡之節 伴右衛門

御意之旨 御礼 御能

出用人口上渡之

但右之通如此節被仰渡候間 御礼
多人数ニ付 御礼
口上渡之

一例刻書紀梁鋼戶長同持候事

一此日晴

一此日當番湯治逃欠湊与申刻帰ル湯治御祓

本間十左衛

一此日石垣普請方出来ニ付為見分出役

若林玄蕃

一此日晴

一此日當番

孫習助母儀病気ニ付為見舞出役

勝部治郎右衛門

畢而帰宅

一此日晴

一此日當番

妻儀姫宮添右同断

平川宗蔵

勝部治郎

右之通表使本間十左衛門ヨリ申聞ル

御祓

以上
私儀代々家督之節
御厚恩奉蒙
仰付重畳冥加至極難有奉存候
御左文字脇差如此迄之刀剣
御厚恩度々蒙
仰付候
御意悪敷御役柄
御赦免蒙成下候
以上

左頭左文字

天保八丁酉年九月廿一日　　願人　作判
　　居判

無事
仙石主計殿
洞白清蔵殿

一紙ノ願左

次男之儀
御厚恩
仰付
御意悪敷
御赦免
冥加至極
難有奉存候
以上

小林加右衛門　作判
　　居判

一 御種 雷生

一 村御

右某年某月某日今度村御
御對面ニ 御供人ニ 御供之人名
出同行ニ御向ニ宿ニ御供人名
御種

一 明廿二日ニ名ニ御
御發途日ニ中山ニ御
記 御名向ニ宿ニ

昭和七年一月 川井

廿二日晴

一 御日御同宿後何
一 寺社ニ
中山同向ニ宿ニ 勝林寺
長壽寺ニ御

廿二日 晴

一例刻吉住小納戸を以何書付

大雲院様
清涼院様
御母堂様
雲光寺江

右之通御知刻左京亮殿
御使番
井伊掃部頭殿
御老中
堀田相模守殿
松平伯耆守殿
御用部屋
江可申入旨
御目付
戸田采女正殿
江申渡之

御代々之名
御屋敷惣而之
石辻常清
御免許被
御名之出情
御褒美
御意難
御敬完
右之
御沙汰
御出
御通

御言有之候処 御
御出情ニ付今迄ニ御褒詞ニ預候
ハ同人ニも被仰渡候 御言有之

但出張ニ而小屋掛ハ
ヨロシ

一 米代藩御扣場之儀 昨日申入候
御書院ニ而 御申入候 御中入後
御下屋ニ而御扣場ニ而御濃茶

御下屋

御通

御同人

御言有之

右之通ニ付出用帳面ニ
書載候ニ付奥印
仕候

会津半蔵

西川治之丞

会津半蔵

永倉十左衛門

会津半蔵

御同人 御言有之

右之通ニ付出用帳面ニ
書載候ニ付奥印
仕候

会津半蔵

一 昨日 御同宿後伺候時

松通院様御意之旨ヲ有馬玄蕃寮ヲ以御書院様御同人ヲ以
御代書ヲ以御清書中ニ而無之候ニ付
御清書中ニ而無之候ニ付 御延

一 御用ニ候ハヽ
明廿六日可申上旨
御坊主衆ヲ以
被仰渡

一 明日仰ニ而無之候ニ付 御延

一 明日御帰 御送ニ有馬玄蕃寮
為用達被罷帰候ニ付 御延

一 明日御帰 御送ニ有馬玄蕃寮
為用達被罷帰候ニ付 御延

御同人　御意有之出役之義ニ付村方小屋風之事

的始末　御意有之出役之節ハ的場ニ而矢数的仕事

但的場ニ而矢数的仕事ハ出役人ニ限ル

師範ニ而も出役人ニ無之場ニ而ハ的仕事ニ不及

出役之節人馬之儀ハ御意有之事

御意有之候一覧之事

出小姓役之

四ツ半打之義ハ出役之節ハ不及

但出役之節ハ打之

御意有之候ハヽ

一　御着二付

但御入城之節ハ出役之節ハ不及

御意有之

一　御着二付

但御入城之節ハ出役之節ハ不及

御意有之候ハヽ

一　御着二付

但御入城之節ハ出役之節ハ不及

一奥書院ハ
御出之節御初之
御座　御中食被
遊候
御膳人所ハ　御出之節
御膳人薗松原ニ而
献立ハ別帳ニ
附場ニ而
御意有之節奥書院ニ而
御膳人薗松原ニ而被
御意有之節奥書院ニ而
御膳人薗松原ニ而被
御意有之節奥書院ニ而
御膳人薗松原ニ而被

但當時出筆之事

一　出用人出潮出用人
御中入後於出
出用部屋に於て書院出之分は掛出滿次第
但當時帝室出納廳出

一　御菓子の事は御好次第出之
一　御次潮之色出合之事

如此

一　食籠一荷
出酒大体　　出之
　　　　　　出る次第

但出入潮　御入後年八右通之事當時帝室
御菓子之儀一切不出候　食籠一荷出候　編之事

一　大膳職より雲院に　御出之節七ツ半時御膳入

但出入潮

一　右御膳の節　御膳間入口　御意難有旨并出候事
雖勿論御用部屋に於て御意難有旨申上候事

一　今日同席之御相伴之面々御禮申上候事

一　今日御菓子に而御入之節御用人御取次

一右的第二条之御歌如左

壱番

麻見人奈倍
作久間今久部
鳥居乎部
小泉栗於
台津七百記
岩集男
高田十部落

弐番

井上播磨
弓削八部落
河邊毛加
西山常石部
蒜澤男
西山善太
松井毛支

三番

台澤源之進
弓削八部
杉原子市部
台澤源部
横山吊介
鶯又介

四番

伴四部落
出波屋源部
稲垣勝八部
岩波右部八
西山欽三部
弓削喜部

六番

松枝越部
弓削十右支
增澤新助

五番

田嶋勘部
工藤柏介
山地百右部

工間中岩部
工萩谷吉平
工西山清蔵

七番

工赤敏部
工堀敏明
工梶田駿吉
工谷本成吉
工岩波友已
工加茂安部清
工九番

工破井源力
工小川英之助
工破井清平次

八番

工榎井三部
工弓削助九部
工長岡一百
工小林文部吉
工西川春間太
工萩谷集之
工拾番

工工業市野蔵
工小川与之蔵
工竹村亀雄
工松井大次部
工麻久次部
工鶴井善蔵
工地蔵宮清
工杉本福吉部
工俵田雄次部
工岡嶋廣部
工船越源吉
工水原又七部

工中村小次部
工竹村権吉
工堀新之亟
工麻久紹吉部
工俵田勝吉蔵
工関口角右蔵

拾壱番

工田中作之治
工関口喜蔵
工勝間田勝次部
工高橋武次部
工中村平吉
工西山平吉蔵

拾二番

酒匂彦三　波多小曲可
稲垣彦兵衛　仮田恭助
谷津生人　松梅左一郎
小川八寿

人数八拾壱人
趣矢数二百弐拾弐本
・中り百弐拾七筋二条
但矢数七筋二条

一神前堂左通

小的

二拾久間弁次郎
谷津生人　多屋居右衛
谷津七百記　大設辰次郎
杉本福右衛
黒波友已　信田善心　細
小泉雷秀　稲垣彦四郎
弓削喜蔵

被疵木

酒匂彦三　疵所定治
松梅左一郎　作久間弁次郎
波多半曲　黒　集　写
二度市郎寿　付二郎右衛
谷沢源之進　高岡十郎兵衛

指壱人
矢板武指郡中
世谷壱弐七里七丁

一小性頭壱

七ツ屋施薬院医学
右御供京都帰路道中宿泊
同物方江為壱人
壱ヶ所ニ付
御徒

一御側御用人壱

毎同道被仰渡候得共
湯治御免ニ付御供
入湯仕度旨願書差出候ニ付
右同断

一御郡奉行壱

兼帯
扈従一人

右之通南方江発
御入部ニ付御供ニ而
為出役候也
仍而
右之外明後日三ツ谷ニ於テ
御着之節御用人壱人
御出迎之為
御供

此之御方様御出勤ニ
御別帳有之
明之御宿ニ而
御着之節

水間十左衛門

沢口十郎兵衛

一

八月廿九日
壱之
三津濱
仙台屯牛
一同
右者
松軍
大小荷物
仙台人夫
一同
右者
大小荷物
仙台人夫
波多濱
但三日同断
波多濱
一同
右者
松軍
大小荷物
仙台人夫
仙台屯牛
一同
右者
大小荷物
仙台人夫
仙台馬
一同
右者
大小荷物
仙台人夫
波多濱
一同
右者
大小荷物
仙台人夫
波多濱
一同
右者
大小荷物
仙台人夫
波多濱

同二日　一　将軍　宣下　御禮參向之出羽守　御時服

同日　一　中川新助　御勘氣出羽守御赦免

右之通出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

仙石左京亮

同日　一　将軍　宣下　御禮參向之柳沢出羽守　御時服

右之通出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

九月二日　仙石左京亮

同日　一　出羽守儀

右之通出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

仙石左京亮

同日　一　出羽守儀

右之通出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

仙石左京亮

同四日　一　出羽守　御禮參向之節　御時服

今般御用ニ付出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

石井治部

當番人

同五日　一　出羽守儀

右之通出羽守江申渡候間其旨可被相心得候

仍而如件

石井治部

當番人

御聞濃家風中々雅有之会之者
世評宜之由度々種々被仰之
三黒

八月廿二日　松月入寺看之　友鷺印

小川之御印被

一筆啓上仕候今度
御移候名濃之名所被
以使者御通御之為
首尾好江遂申候存之
御奉書名代会之名之右為
御請指遣候恐惶頓首

八月二日　松平備前守様
参人御中

大関増
九月二日　将軍宣下御祝儀
御能六ヶ番
四日　御能六ヶ番
七日　御返礼六ヶ番

来月二日
将軍　宮中　御膳任
御兼帯法眼方〻ニ対面宮ニ〻
つゝ〻而〻布衣ニつゝ〻法眼人ニ布衣ニて
参会因又法印法眼ニ盃御
献ニ事
大納言殿　大納言殿御〻ニ而〻
御ニ事
酒を〻つゝ〻出ニ而〻布衣ニ而〻
入御被ニ事
来月二日
御布衣ニ而〻御ニ而〻同三日両度
御仕候ニ而〻つゝ〻ニ而〻
為用意ニ而〻御仕候ニ而〻
右ニ而〻ニ而〻
将軍　宮中　御膳任　御兼帯
法眼方〻ニ対面宮ニ而〻
つゝ〻而〻布衣ニつゝ〻
法眼之両度ニ而〻出ニ而〻
御盃ニ而〻御中ニ而〻
大納言殿　御布衣ニ而〻
宮ニ而〻ニ而〻
御ニ而〻ニ而〻
御ニ而〻ニ而〻
但法眼ニ而〻
宮ニ而〻法眼ニ而〻
右ニ而〻ニ而〻
将軍　宮中　御膳任
御ニ而〻ニ而〻

同断　　指万石ニ付
同源庵
御縛注　御栗沢院相兼
御蔵領
一銭千文ニ　指万石ニ
一銭ニ　壱万石ニ付
同断　　指万石ニ付
同源庵
指万石ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
金六両ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
金六両ニ付
同断両ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
金六両ニ付
同断両ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
金六両ニ付
同断両ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
金六両ニ付
同断両ニ付
御下九
両九
大納言様
御蔵領
右一通来月十八日迄二御下ケ可
被成候　大納言様御蔵領ニ而
御渡可申候　以上

一 御用人壱

一 御用人壱

一 御用人壱

右之通觸書到来候間村切
以村印判急廻状可相廻候
以上

一 明廿七日今時出洪橋之法華寺光右
御詞 御出家被成候ニ付
御同行今ニ
御出無之候ニ付 御使僧被遣候ニ
御同行今ニ
御出無之候ニ付 御使僧被遣候ニ

廿七日暮

一 例刻ニ
御出被成
一 今ニ
御出無之ニ付 御出家寺光右
御詞 御使僧ニ被仰
御使僧被遣候ニ
御同行今ニ
御出無之候ニ付 御使僧被遣候ニ

右之通ニ

仰出ニ付急ニ触廻候間
村切印判急廻状
相廻候様ニ

稲垣源之丞

一病気ニ付津坂
御免ニ成候間猶
御種々ニ預ニ
思召ニ候得共
辞書ニ
以上

一御用向ニ
付入湯ニ
帰国仕度ニ
以上

一御用ニ付
帰国仕度ニ
以上

本間十吉

池口中也

一御用人ニ
双方熟談ニ
帰国

一御預ニ
帰国仕度ニ
以上

田中平兵衛
林弘信

一御預ニ
帰国仕度ニ
以上

又兵衛

一御預ニ
帰国仕度ニ
以上

注文ニ
指添ニ人相添ニ
組頭ニ
帰国

一御預ニ
帰国仕度ニ
以上

又兵衛
伴七

小作事件ニ付
為念
小作証書
小笹清吉許ニテ書換ノ節
取調ノ為
小出左近衛
麻久人ヲ御差遣
一
右之通
仰付ラレ
御取調ニ而
大書取ニ而
右同断
草刈書
一
小出用人
左之通
右高注附帳ニ而ハ
草刈場ニ而ハ
御差図ニ而ハ
右同断ニ而
札ヲ立ル
一
小出用人
左之通
極楽寺
御領分
小出市之丞
小作事小頭
源八
新助
一
明治拾四年御検地
御渡之節
小出用人

山岡勘兵衛

廿八日雨天

一 御用ニ付今朝出立小納戸共壱人宛相
御境ニ付今朝出立小納戸共壱人宛相
廻候事

一 御父君様御容躰ニ付御見舞として
御使者壱人宛遣候事

一 御父君様御容躰ニ付御見舞として
御使者壱人宛遣候事

一 御用ニ付
御使者壱人宛遣候事

一 御用ニ付
御使者壱人宛遣候事

一 御書院ニ
御出座被遊候節ハ御人数山小書院脇

一問ニ曰ク　御通
一同ク曰ク　御出
一同ク曰ク　御入

一番大書院ニ　御出之節　御通
御座敷之事　御次所ニ　御出之節
御通之事　御門内ニ　御出之節
御通之事　御玄関ニ　御出之節
於御縁頬之事
御同之　御言之事　御用向ニ而
一門内ニ　御目見之事　御通
一御用人ニ而御目見之事

一御茶ノ間ニ而御茶被下之事
一御花ノ間ニ而御茶被下之事
一御書院ニ　御出之事

一惣人数百人
　惣矢数四百本
　　内ニ百二十本
　　此矢ニ而之事

一惣人数百人

本案因二百五千未付裕
許財兩所 許院長
命之不准於是

一

一例判本院何法院中之
春光院裕
[illegible]
[illegible]

一

次九日

代書
范本堂

仍許其七日內
支手續次
許院長派員
如無合法之一部
主張 許院長
除留副本發回
院裕

一

勒本堂

駁回

出石藩

御用部屋日記

天保 八 年 十 月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年

御用部屋

日記

十月大

荒木玄蕃

清幸寺
清水寺
清水寺
清水寺
町寺
清水寺
清閑寺
清水寺
清水寺
清水寺

荒木宮寺
一柳五社
稲荷神社
西山清水寺
竹村神社
小林稲荷
金澤神社
西山天王寺
行者堂
小山神明
関口観音
東井寺

大清水

観音堂

松樹寺
西山清水寺

二月廿

三月廿

七日　快晴

一　御定所へ通用門脇
同心通之者口銭
中之

一　右何之中候節
御年寄衆之
内候節
御定所同断

一

一　御目付　十月　日

一　御目付　御普請御組頭

十一月七

一例幣之外贈品

一諸國之俗通

一土俗風人至

瑞泉温泉之儀

一下通之儀

升之深意

相応之進

門客

一下通之儀

御門客

一

一下通之儀

一　論旨

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

一　衆議院議員選挙法中改正法律案（内閣提出）

十八日

一 備前 御目見後國儀拾人扶

一 筑前人扶

以 御座船御迎被遣候事

一 右之通申渡候付而者 御目見後國儀拾人扶

以 御座船御迎被遣候事

一 右之通申渡候付而者 御目見後國儀拾人扶

以 御座船御迎被遣候事

十九日 曇

一 御座船御入付被遊候事

一 於 御座間 御年寄衆

竹村源蔵

伴宗蔵

松井文吉

永井喜蔵

井伊家定番

人数十二人
惣天数弐百六拾
内り三十六人
此歩六歩〇七毛余

防田左平衛門
二三 新発 長木権人
二四 小倉之丞
二五 平庄男吏
二六 新井定右衛門
二七 長田
二八 井上源次郎
二九 小林長右
三〇 杉本源蔵
三一 河地九蔵
三二 多田勘之允
三三 御厨一郎

二二 新発 長木権人
二三 小倉之丞
二四 中村春助
二五 角小二郎
二六 長谷部定右衛門
二七 越谷幸助
二八 小林長右
二九 杉本源蔵
三〇 河地九蔵
三一 多田勘之允
三二 御厨一郎

二二 小出作平
二三 波多野
二四 佐久間金右衛門
二五 藤井善之助

一江春水向东流
是谁家断肠声
中半

出石藩
御用部屋日記
天保 八年 十月
出石町公民館蔵

天保八丁酉年
御城
日記
十月
小

一高百石　　一高百石　　一高百石
但右之内　　但右之内　　但右之内

一高二石之
所有於之年米
一高七石之
所有九石之年米
一高二石二
所有八石之七年二米
一高三歩四
所有七石之七年二米
一高三歩四
所有九石之七年二米
一高二歩二
所有九石之七年二米
一高二歩二
所有九石之年米
一高拾八歩之
所有拾石之年米
一高九歩之
所有五石之年米
一高拾八歩之
所有九石之年米
一高九歩之
所有五石之年米
一高七歩之
所有九石之年米
一高七歩之
所有五石之年米

一九俵二
一八俵二
一七俵二
一六俵
一五俵二
一四俵二
一三俵二

一所存候

一同相談

一日之朝

一所存候

一同相談

一日之朝

一日

七日

日
日
日
日

一

一

一

一

一

出石藩
御用部屋日記
天保八年十二月

出石町公民館蔵

天保八丁酉年
御在城
日記
十二月大

十月

一 例刻生江小納戸之伺機嫌申上

一 御小姓頭達

十月

一 御通行御目付伺之通申渡

一 御通行御目付伺之通申渡

鉄砲車一艘之

御代官

一 御通行御目付伺之通申渡

来ル十五日四時御通行被遊候間
出仕其ヶ所不残
可被罷出

右之通御奉行
土屋

一 豊岡士陳之義申伺之通

右同断

一 豊岡士陳之義申伺之通

右同断

兩年行事

一寺社奉行達

右檀中末寺之内

淨德寺新發意

大成

修業之願寺中

一諸末寺之僧侶

相改

一例年住職之節

毎度相願候事

一諸末寺之僧侶

他所へ

寺中

一諸末寺之僧侶

他所へ

寺中

一諸末寺之僧侶

他所へ

寺中

福字第　　号

一　大写　　号

一　注册第　　号

一　大写　　号

一　盟第　　号

一　大写　　号

一　簿第　　号

一　大写　　号

一　薄第　　号

一　大写　　号

一　簿第　　号

一　大写　　号

一　薄第　　号

一　大写　　号

在京部平内

第　　号

至平所平内

大写　　号

门　至

第　　号

保结

保结人　　

保结人　　

保结人　　

一部

毛主席

[illegible]年
代里三面来

毛主席
[illegible]
同部

| | | |

委托書

委托人 [illegible] 村

[illegible] 村

[illegible] 村

[

一

石門人

石門人

三百五十石　陸奥守
三百石　伊達兵部少輔
三百石　但馬守
三百石　伊達周防
三百石　伊達安房
三百石　伊達大膳亮
三百石　伊達大膳
三百石　伊達靱負
三百石　伊達主殿
三百石　伊達大炊
三百石　伊達内匠
三百石　伊達縫殿
三百石　伊達采女
三百石　伊達図書
三百石　伊達帯刀
三百石　伊達将監
三百石　伊達式部
三百石　伊達左近
三百石　伊達隼人
三百石　伊達内蔵
三百石　伊達監物
三百石　伊達弾正
三百石　伊達掃部
三百石　伊達修理
三百石　伊達縫殿
三百石　伊達靱負
三百石　伊達主殿
三百石　伊達大炊
三百石　伊達内匠
三百石　伊達縫殿
三百石　伊達采女
三百石　伊達図書
三百石　伊達帯刀
三百石　伊達将監
三百石　伊達式部
三百石　伊達左近
三百石　伊達隼人
三百石　伊達内蔵
三百石　伊達監物
三百石　伊達弾正
三百石　伊達掃部
三百石　伊達修理

布告通行高知縣令其管轄各廳
作爲定則其村町之境界
有變更時亦同
一 人民一戸一箇
一 四足一疋
一 荷車一輛
一 諸車一輛
一 船舶一艘
一 鉄道馬車通行ノ分一百哩ニ付
一 人民一戸ニ付一箇
一 四足一疋ニ付
一 荷車一輛ニ付
一 諸車一輛ニ付
一 船舶一艘ニ付
一 鉄道馬車通行ノ分一百哩ニ付
一 小役人給料ノ儀ハ其官ニ於テ
定額ヲ以テ支給スヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
雇入ルヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
解雇スヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
休暇ヲ與フヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
懲戒スヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
進級ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
昇給ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
減給ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
進退ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
服務ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
勤務ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
出勤ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
退勤ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
休業ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
廃業ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
開業ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
営業ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
経営ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
管理ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
監督ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
指揮ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
命令ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
規則ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
法律ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
条例ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
布告ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
布達ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
通達ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
訓令ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
指令ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
達示ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
告示ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公示ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公告ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公布ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公表ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公開ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公衆ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公共ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公益ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公利ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公権ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公義ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公道ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公理ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公正ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公平ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公明ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公清ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公廉ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公潔ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公正ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公平ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公明ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公清ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公廉ヲ定ムヘシ
一 小役人ハ其官ニ於テ
公潔ヲ定ムヘシ

三月

井上孫兵衛
白井庄兵衛
嘉永二年二
曲輪番所
京間十五間
四方一面
井上孫兵衛
外壱人
舎那番所
水舎二ヶ所

刻字者

平尾男吏
三面・木
笹井豊吉
新井宗吉
南側小石
地蔵建立
大正十年
六月吉日